

社会福祉法人サンシャイン会 令和6年度 事業計画書

法人理念

自助・互助・共助・公助、4つのバランスのとれた福祉・地域共生社会の実現を目指します
地域社会の中でいきるサービスを提供し、地域の可能性を創出します

ビジョン

地域共生型サービスへの転換を目指して実践を進める

法人訓(職員の行動規範)

心・技・体・智・絆

心(しん):対象者を思いやれる福祉の心 技(ぎ) :高い専門技術
体(たい):健康、体力 智(ち) :高い専門知識
絆(はん):良好な人間関係(対利用者、家族、同僚、地域)

次世代に向けた想い 3C

チャレンジ (Challenge) チェンジ (Change)

冷静な判断 (Calm judgment)

何事においてもチャレンジする チャレンジすることで得られるものは必ずある
時代や環境の変化に対応する 変化に対応することで新たな発見がある
客観的に物事を捉えて選択をする 最善であることを考える

社会福祉法人サンシャイン会の法人理念、ビジョン、法人訓、次世代に向けた想い3Cは、サンシャイン会が今後どのような方向に進むべきか、どのようなことが求められる姿 なのかを考える基準とする。

※地域共生社会とは

制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け身」という関係性を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すもの

事業

1. 軽費老人ホームシーサイドサンシャイン
2. 特別養護老人ホームリベラルサンシャイン本館
3. 特別養護老人ホームリベラルサンシャイン別館
4. ショートステイ
5. デイサービスセンターサンシャイン
6. デイサービスセンター北のおひさま
7. デイサービスセンターサンライズ西村
8. 居宅介護支援事業所
9. 訪問介護事業所
10. 障害福祉サービス(ショートステイ、訪問介護)
11. グループホーム北のおひさま
12. 小規模多機能型居宅介護事業サンリゾート
13. 公益住宅サンスマイル
14. 給食課

—————〈現状と課題、求められること〉—————

2023年5月8日、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に引き下げられたが、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の流行は未だに尾を引いている現状である。まだまだ法人・施設内感染拡大への注意喚起が必要である。

また、国際紛争や情勢は厳しい状況も続いており、円安、電気料金・物価高騰も続いており、国・県・町からの医療・福祉応援金は出ているが、物価高に見合う金額ではなく、法人・事業経営は非常に厳しい現状である。

世情や厳しい時代の変化に対応するためには、変化を恐れないチャレンジが大切である。小豆圏域においては少子高齢・人口減少が顕著であり、人材確保も厳しく、地域の対象者の生活課題に対して、さまざまな視点からのアプローチが必要と感じている。

幅広く地域課題に積極的に関わることが、福祉課題の解決にもつながり、持続可能な地域共生社会づくりにつながると思っている。

なお、時代に合った福祉サービスを展開するためには、利用者満足度・職員満足度の向上、組織力の強化が必須となってくる。組織力向上のためには、法人のビジョンの浸透とPDCAサイクルを円滑にする必要がある。

利用者満足度向上のためには、居宅サービス・地域密着型サービス・入所サービスといった社会福祉法人の特性を活かした総合的かつ包括的サービスの提供を実践していく必要が有る。特性を活かすためには、在宅生活のサポート

から連続性のある切れ目のないケア、生活の質を維持、向上する為のサービス提供を進める必要がある。職員満足度向上のためには、心理的安全性が高いこと、活発なコミュニケーション、仕事における自己実現へのサポートをする必要がある。

このように法人組織としてアップデートしていくとともに、地域課題へのアプローチ、福祉人材確保へのアクション、地域社会から信頼される法人づくり、全国、県レベルでの関係機関との連携強化、小豆圏域関係者とのネットワークを構築し、住民とも連携した町づくりが求められている。

前述のとおり法人としての組織力の向上が重要である。法人が有する14事業所サービス、4委員会の取り組み内容が強みを活かすことにつながり、それらをPDCAとして回していくことが求められている。職員一人ひとりが自身の特性を活かして関わることが最終的な結果に結びつくと考えられる。

上記に挙げた、利用者満足度、職員満足度、組織力を向上させていき、バランスをとっていくことで時代の変化に対応できる法人として進んでいくことができると確信する。その結果、「地域共生型サービスへの転換を目指して実践を進める」ことに繋がる。

地域共生社会を目指す為には福祉分野に留まらず、行政、医療、企業などの他分野(異業種)との連携、協働が必要である。地域共生の地域とは小豆圏域レベル、オール香川のネットワーク強化を進め、他分野との協働を進めて行かなければならない。それが福祉における地域づくりとなり地域経済、地域再生における地域づくりにつながっていくものと確信する。

また、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち、サンシャイン会としては(3)すべての人に健康と福祉を(8)働きがいも経済成長も(14)海の豊かさを守ろう、の3つの項目を進め、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために行動していく。

—————〈サンシャイン会中期計画〉—————

経営計画を策定する際の5つの視点

1) 地域公益の視点(地域住民・地域貢献の視点)

地域の福祉ニーズの調査・把握
自治会や学校等の各種団体との連携
ボランティアの育成
地域住民への施設や設備の開放

2) 財務の視点(経営・資金の視点)

事業収入の向上や助成金・補助金の獲得
大規模修繕資金の算定と確保

3) 顧客の視点(利用者・家族の視点)

利用者や家族の自法人に対するニーズの調査
利用者に提供するサービスや価値の向上
利用者や家族の満足度向上
利用者が自法人を繰り返し選択するリピート率の向上

4) 業務プロセスの視点(仕事の進め方の視点)

仕事の進め方の効率化や標準化
マニュアル整備
広報誌やホームページ
SNS等の自法人の広報活動
新たな事業やサービスの開発
委員会活動の運営・促進
理事会や評議員会の効果的運営

5) 学習と成長の視点(人材力・組織力の視点)

職員の確保や定着率の向上
スキルや知識・ノウハウの育成
管理者の経営に関わる知識の向上
職員間での経営理念や目標の共有
チームワークや組織力の向上

BSC

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/11yS6TraqQIrHDVb4ZXoNjwot3mkZtkLt/edit#gid=1087040025>

〈実践〉

SDGs

3)すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

8)働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

14)海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

香川県

香川おもいやりネットワーク事業

災害福祉支援ネットワーク事業

小規模法人等協働推進事業

法人委員会

経営品質向上活動委員会

研修委員会

広報委員会

地域活動推進委員会

令和6年度 経営品質向上委員会 計画書

令和5年度も円安の長期化や原材料費の上昇により相次ぎ物価が高騰する事となった。今もなお物価上昇は高水準を維持しており、今後も消耗品の比較検討や節電・節水等の対策を講じていく必要がある。令和6年1月1日に発生した能登半島地震をはじめ、近年多発している地震や洪水などの大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症等の様々な感染症に備え、BCPの内容の見直し、備蓄食の管理等、事業運営を継続していくべく環境整備・職員間での情報共有、訓練をおこない有事の際に備える必要がある。

また、人材が定着し離職率を減らす為福利厚生の充実を図り、働き易い職場環境の構築を目指す。持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち3つの目標（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 実施内容（手法）※SDGsの目標内容もリンクさせる

【地域公益の視点】

・非常災害に対する備え

①土砂災害→訓練の実施（6月）、BCPの修正（随時）

地震→訓練の実施（年2回）、BCPの修正（随時）

備蓄の管理、確認（6月、12月）

福祉避難所、一般避難者受入れ体制の見直し（通年）

②感染症→BCPの見直し（随時）、訓練の実施（年2回）、感染拡大防止体制の確立（通年）、組織的に浸透させていくための研修（年2回、新規採用時（研修委員会とタイアップし開催）、シュミレーション訓練（年2回）

③SDGsの取り組み

→他部署、他委員会と協力しマルシェ、地域交流会等を開催。利用者にも参加してもらい⑧働きがいも経済成長も。に繋げる。（年1回）

【財務の視点】

・福利厚生の充実

①職員のモチベーション向上に向けた取り組み

→新年会・新人職員歓迎会の開催及び検討（5月、1月）

→サークル活動支援（随時）

→計画的な有給休暇の取得（8月、12月）

→福利厚生の見直し（通年）

・消耗品のコスト削減

→消耗品の比較検討（5月、9月、1月）

→節電、節水への働きかけ（通年）

【顧客の視点】

・多様化するニーズへの対応

→利用者満足度（CS）調査の実施（2月）、社会資源や地域ニーズの把握と分析（3月）

【業務プロセスの視点】

・組織力強化に繋がるツールの活用

アクションプラン2025（通年）

経営計画策定ワークブック（通年）

日本経営品質賞アセスメント基準書（通年）

→これらのツールを活用して事業計画、委員会計画の見直しに活用

→中長期計画の策定に活用

・人材確保と定着

→実習生、職場体験、学生インターンシップ、体験学習やボランティアの受入れ（随時）、就職説明会や進路説明会への参加（随時）、SNSを活用して福祉の魅力を発信（随時）

→新規採用者の雇用条件の検討（随時）

・業務の省力化、効率化

→業務の見直し、業務手順の作成（通年）

→異動に関しての平等性、適材適所での業務内容（通年）

- ・法人、事業所、委員会の事業進捗状況の確認
→半期に1回見直しを実施（9月、3月）、事業計画（2月）、事業報告（4月）
- ・腰痛予防の取り組み
→ノーリフティングケアの推進、各部署への情報発信（随時）
- ・SDGsの取組を情報共有
→法人全体での取組とSDGs取組事例の情報共有をして法人全体に普及させる（随時）

【学習の視点】

- ・労働環境及び規程の整備
→フレックスタイム勤務、高齢者の雇用促進（通年）、
→資格手当の見直し（モチベーションアップの為）
職員満足度調査（ES）実施（2月）
→過去の職員満足度、利用者満足度調査の分析と、年度末に調査を実施（2月、3月）

3. 委員会メンバー

中野主任（委員長） 中野課長（副委員長） 金田課長 他各事業所から1名ずつ選出

4. 年間計画

月	内 容	
4月	BCPの確認調整（地震） ノーリフティングケアの情報発信	事業報告 労働環境の整備(業務マニュアルの見直し)
5月	BCPの訓練（地震） ノーリフティングケアの推進 労働環境の整備	新人職員歓迎会の開催 消耗品の比較検討
6月	BCPの反省、見直し（地震） 労働環境の整備	備蓄の管理 節電、節水への働きかけ 腰痛検査の実施
7月	BCPの確認調整（風水害） 労働環境の整備	就職・進路説明会への参加
8月	BCPの訓練（風水害） ノーリフティングケアの情報発信 労働環境の整備	関係機関との協定締結(備蓄) モチベーションアップ企画の実施 計画的な有給休暇取得の確認
9月	BCPの反省、見直し（風水害） ノーリフティングケアの推進 労働環境の整備	消耗品の比較検討 事業進捗状況の確認（進捗管理表）
10月	BCPの確認調整（感染症） 労働環境の整備	
11月	BCPの訓練、反省、見直し（感染症） 労働環境の整備	就職・進路説明会への参加
12月	BCPの確認調整（地震） ノーリフティングケアの情報発信 労働環境の整備	備蓄の管理 計画的な有給休暇取得の確認
1月	BCPの訓練、反省、見直し（地震） ノーリフティングケアの推進 労働環境の整備	新年会の開催 節電、節水への働きかけ 腰痛検査の実施 消耗品の比較検討
2月	BCPの訓練、反省、見直し（感染症） 労働環境の整備 事業進捗状況の確認（進捗管理表）	事業計画の作成 職員満足度（ES）調査の実施
3月	BCPの策定 見直し（全体） 労働環境の整備	事業進捗状況の確認（進捗管理表） 社会資源や地域ニーズの把握と分析 利用者満足度（CS）調査の実施

令和6年度 研修委員会 計画書

1. 概要・目的

施設内研修、施設外研修、法人の研修システム等を計画的に実施し、職員のキャリア形成や自己実現の支援なども含めた育成システムを構築し職員育成の充実や、未経験者が仕事をしながらも学べるフォローアップ体制を構築する。また、資格を取得することで、仕事にやりがいを持ってのように資格取得に向けてのシステム作りを行う。

制度改正に伴い必要となる、研修、指針等の取りこぼしがないように計画的に研修を行う。

自法人だけではなく、小豆圏域の福祉施設に従事する職員の情報交換の場として合同で行える研修の企画や周知、地域住民にむけた公益的な取組みを行う。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標の（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で委員会に合った目標設定をして取組みを進める。

2. 実施内容（手法）※SDGsの目標内容もリンクさせる

【地域公益の視点】

（1）職員への地域公益活動、地域貢献活動の周知（一職員一地域貢献）

共通認識を持つ

→地域への取組の理解促進（年2回）

①他事業所の取組を調べ周知し、自事業所の取組を理解する機会を持つ

→在宅介護者を対象とした情報の提供（随時）

①地域活動推進委員会と共同で、地域に向けて情報を発信する。

サロン活動を通じて、必要な情報（レク、介護等）を提供する。

（2）SDGs「14海の豊かさを守ろう」への取組

→クリーン作戦に参加し蒲生の浜を中心に清掃実施（月1回）

【財務の視点】

（1）加算算定の為の資格取得への受講促進

→資格活用の理解促進プログラム構築（随時）

①業務に必要な資格の取得にむけて対象者の選出、提案

②資格取得にかかる費用負担軽減の提案

③資格手当の見直しにより、有資格取得への意欲促進

※②③規程変更となるため理事会等の承認が必要

（2）介護報酬について学ぶ

→事業所毎の加算取得内容の把握（年1回）

①事業所でどのような加算を取得しているか理解する。

【顧客の視点】

（1）介護職員の教育や研修を強化し、利用者満足度向上を図る

→利用者満足度調査実施、内容の見直し（各事業所にて年1回）

①例年のアンケート調査、前年と比較し満足度を分析

→職員の言葉遣い等、接遇力向上に繋がる取組・研修の実施（年1回）

→苦情対応に関する研修の実施（年1回）

→虐待防止に関する研修の実施（年1回）

（2）ひやりはっと、事故の分析と再発防止についての認識強化

→ひやりはっと、事故の再発防止への取組検討（各事業所にて月1回）

①ケア会議等で月々のヒヤリハット、事故について検討

→ひやりはっと、事故分析結果による対策の検討（各事業所にて年2回）

①上期、下期で多発した事故等の原因、対策について検討

【業務プロセスの視点】

（1）事業所、委員会を通しての業務改善

→委員会の取組についての情報共有（月1回）

①経営会議、課長主任会議にて情報共有

→腰痛対策の検討、実施、報告（各事業所にて随時）

→新規ICT技術導入時に向けての補助金の理解（必要時）

（3）SDGs「3すべての人に健康と福祉を」への取組

→交通事故減少目標に法人ゴールド免許所有率アンケートの実施（年1回）

①職員だけではなく地域で暮らす人々の安全、健康維持への理解促進

→アンケートにより違反項目の分析、周知の実施（年1回）

→安全運転管理者講習の内容の情報共有（年1回）

①復命書および資料の回覧

【学習の視点】

(1) 法人、事業所の安定した研修、体制づくり（OJT,OFF-JT等の計画的実施）

→年間の法人、事業所研修計画の策定、研修実施内容の検討（毎月）

①研修予定内容について委員会にて内容検討

②制度で義務化されている研修内容の検討

身体拘束・事故防止（各事業所にて年2回実施）※資料提供は研修委員会

虐待防止・ハラスメント防止（年1回）

災害・感染症BCP（年1回）

→研修参加状況の可視化（研修報告の作成・アンケート集計）（研修後、随時）

→身体拘束・事故防止・虐待防止・BCPの指針の確認（年1回）

③配置に必要な研修受講の推進

→認知症介護基礎研修

→初任者研修

→実践者研修（※他の資格取得に必要な基本研修）

→管理者研修

→計画作成者研修（要介護支援専門員資格）

→介護福祉士指導者研修

(2) 研修、フォローアップ研修のシステム構築

→エルダー制度の実施、経過確認（新入職員対象）（各事業所：毎月）

①部署での進捗状況を委員会で状況把握

→外部研修で学んだ内容を効果的にフィードバック出来る体制作り（月1回）

①復命書及び、研修資料の回覧

②外部研修を活用した階層別研修の実施

→次世代育成プログラム検討（随時）

①育児・介護休業法、雇用保険法、労働基準法に基づく制度の周知、実施状況の周知

(3) 中長期的キャリアパス、目標設定の実施

→キャリアパス理解促進研修、目標設定研修、人材育成研修等（随時）

①キャリアパス表の可視化

②自己申告書、面談の活用（年2回）、1on1ミーティングの導入（定期的な個別面談）

(4) SDGs「8働きがいも経済成長も」への取組

→ハラスメント防止への取組、研修（年1回）

①ハラスメントがない法人として心身ともに元気に働くことができる環境整備

②ハラスメントに関する研修の企画、実施

→介護福祉士取得率70%を目指す（令和6年2月現在64%）（処遇改善に繋がる）

①実務者研修に参加しやすいような環境づくり

(5) 事業計画、委員会計画の見直しを定期的実施

→委員会計画の見直し（PDCA様式作成）（年4回）

①6月、9月、12月、3月の進捗状況について見直しを実施。

4. 委員会メンバー

川西主任(委員長) 山下課長(副委員長) 中野課長 三木弥生職員 真砂りか職員

5. 年間計画

別紙参照

6. その他

令和6年度 研修委員会 年間計画

月	活動予定	施設外研修（時期は前年度参考）★職員配置に関する研修
4月	1日 中旬 中旬 施設内研修：新入オリエンテーション 研修委員会	★防火管理者研修（必要時） 講義2日間（1次申込2月、2次申込3月）
5月	中旬 研修委員会	レクリエーション・アクティビティ研修会 ★認知症介護実践者研修受講締切（5月中旬） 講義1日
6月	中旬 施設内研修：救命講習Ⅱ（4時間） 研修委員会	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者） ★介護支援専門員試験申込締切（6月上旬） 講義2日
7月	中旬 施設内研修：身体拘束・虐待について① 研修委員会	対人援助技術専門研修会 ★ユニットリーダー研修Ⅰ期締切（7月上旬） 対人援助・相談援助業務の従事者
8月	中旬 施設内研修：ハラスメント研修 自主学習：介護支援専門員 研修委員会	認知症介護基礎研修① 高齢者福祉施設等職員研修 リスクマネジメント研修会 介護技術特別研修 ★衛生管理者試験 無資格者の介護職員、実践者研修予定者 講義1日 講義1日 講義1日 高松会場（それ以外は福山で毎月あり）
9月	中旬 ノリツインがひやりはっとの集計 自主学習：介護支援専門員 研修委員会	社会福祉施設等施設長研修 ★介護福祉士試験申込締切（9月中旬） 講義1日
10月	中旬 施設内研修：BCP研修 自主学習：介護支援専門員 研修委員会	認知症介護基礎研修② 介護トピックセミナー ★ユニットリーダー研修Ⅰ（座学のみ）① ★介護支援専門員試験 ★認知症介護実践者研修② ★認知症対応型サービス事業管理者研修締切（10月上旬） 講義1日 講義3日実地研修5日
11月	中旬 施設内研修：消火訓練（新入社員対象） 自主学習：介護福祉士 研修委員会	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員） 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダー） 認知症予防研修 接遇力研修 ★認知症対応型サービス事業管理者研修① ★ユニットリーダー研修Ⅰ（座学のみ）② ★ユニットリーダー研修Ⅱ期締切（11月中旬） 講義2日 階層別研修不参加者から 講義2日 階層別研修不参加者から 講義1日 講義1日 講義1日 講義3日実地研修5日
12月	中旬 施設内研修：事故・苦情に関する研修 自主学習：介護福祉士 研修委員会	★ユニットリーダー研修Ⅰ（座学のみ）③ ★小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修締切（12月下旬）
1月	中旬 施設内研修：身体拘束・虐待について② 自主学習：介護福祉士 研修委員会	★認知症介護実践者研修③ ★ユニットリーダー研修Ⅱ（座学のみ）① ★介護福祉士試験 講義5日間 実習4週間 まとめ1日 講義3日実地研修5日
2月	中旬 研修委員会	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員） ★小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 ★ユニットリーダー研修Ⅱ（座学のみ）② 講義2日間（介護支援専門員から） 講義3日実地研修5日
3月	中旬 施設内研修：エルダー制度について 研修委員会	★認知症対応型サービス事業管理者研修② ★ユニットリーダー研修Ⅱ（座学のみ）③ 講義1日 講義3日実地研修5日

異動・配置等に必要研修

防火管理者...4月以外でも実施（5/18.19、8/23.24、9/14.15、11/9.10、12/6.7）香川県土木建設会館（異動に伴い必要な場合あり）
 認知症介護実践者研修...認知症対応型サービス事業管理者研修、小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修受講者には必須研修
 認知症対応型サービス事業管理者研修...小規模多機能、GH（各ユニットに必要）の管理者になるには必須
 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修...小規模多機能配置には必須（介護支援専門員のみ）
 ユニットリーダー研修...別館配置に必須（各ユニット毎に1名ずつ必要）
 衛生管理者...試験が毎月福山で実施。年1回（8月頃）高松での実施あり。
 喀痰吸引等研修...介護職員が喀痰吸引をする場合に必要研修（介護福祉士）
 喀痰吸引等指導者講習...喀痰吸引等の特定行為の指導をするための講習（正看護師）

備考

防火管理者...4月以外でも実施（5/18.19、8/23.24、9/14.15、11/9.10、12/6.7）香川県土木建設会館（異動に伴い必要な場合あり）
 経営品質向上活動勉強会...必要に応じて
 内部研修については外部研修のフォローアップを視野にいれ検討する。

令和6年度 広報委員会 計画書

1. 概要・目的

積極的な情報発信による地域社会との信頼関係や連携向上を推進する。また、自法人の理念、目標、機能、役割など具体的な事業内容、日々のサービス内容などを広く地域社会に伝え、地域との信頼関係、ボランティアや実習生の受け入れ、求人（職員募集）などにも繋げていく。職員不足が深刻化しているため、職員募集に関するアイデアを検討していく。

施設内外広報誌、SNS・YouTube、ホームページ、公式ライン、サンちゃん（マスコットキャラクター）を活用することで、法人のイメージアップ、地域との繋がり強化に向けて新たな取組みを行う。また、雇用、地域、職員、利用者家族などターゲットを絞り効果的なアクションを起こしていく。

持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち3つの目標（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取組みを進める。

2. 実施内容（手法）※SDGsの目標内容もリンクさせる

【地域公益の視点】

法人の地域化を推進する

（1）広報誌

サンシャイン通信

→飲食店や観光業など、サンシャイン通信の配布先を増やす（年2回）

→デザインの見直しを行う。（年1回）

→地域の情報やニーズを把握

→SDGs「3すべての人に健康と福祉を」として旬の野菜を使った料理紹介、健康体操などを掲載

→配布先の活用状況や感想等の情報収集を行う

（2）SNS（Instagram、X、Facebook）、YouTube

→地域とのコラボレーションを行う（年4回）

→公式ラインの更新（随時）

→タイムリーな情報を発信する（随時）

→地域、雇用、職員などターゲットを絞って発信していく

→福祉と地域に関するYouTube、ショート動画、リールを作成する

→地域の行事等を発信し、活性化に繋げる

→投稿内容の確認と見直しを行う（毎月）

（3）ホームページ

→部署ごとの取組み内容を積極的に発信する(随時)

→SDGs「14海の豊かさを守ろう」の取組として実施しているクリーン作戦の様子を発信

（4）サンちゃん（マスコットキャラクター）

→法人、事業所広報誌、チラシなどにサンちゃんの掲載をする

→各事業所の取組み内容をSNS等でバランスよく発信

→地域の居場所づくりに繋がる取組みの発信

【顧客の視点】

サービス種類・選択肢の多さ、サンシャインの特性、職員の様子について発信

（1）広報誌

サンシャイン通信

→法人、事業所の出来事を掲載

（2）SNS（Instagram、X、Facebook）、YouTube

→日々の活動を発信

→料理の写真や作る様子や在宅介護向けの動画を発信

→福祉に関する情報等の発信

（3）ホームページ

→部署ごとの取組み内容や、イメージアップに繋がる内容を投稿する。

→アナリティクスの情報活用

（4）サンちゃん（マスコットキャラクター）

→親しみやすさを伝えるためにさまざまな場面に掲載

【業務プロセスの視点】

広報に関する知識向上や情報収集・ターゲットに合わせた情報発信

(1) 広報誌

- サンシャイン通信、各事業所広報誌の内容見直しを行う
- 地域、家族、利用者などのニーズを聞き取りを行う

(2) SNS (Instagram、X、Facebook)、YouTube

- アナリティクスの情報や人気投稿などを分析してコンテンツの改善を行う
- 時期に応じた内容やニーズに応じた発信をする
- コンテンツを溜めて整理し、効率良く発信する
- 公式ラインの更新 (随時)

(3) ホームページ

- 掲載内容の見直しを行い、最新情報を広報誌や SNS で発信する

(4) サンちゃん (マスコットキャラクター)

- SNS やポスターなどにキャラクターを活用する

【学習の視点】

(1) 広報誌

サンシャイン通信

- 職員の個性が伝わる欄を作成
- 地域に向けた活動を掲載

求職者・学生向け広報誌

- ポスターやチラシの作成、配布
- ショップカードの様な情報をカード掲載したものを作成

施設内広報誌

- 新入職員や職員が必要とする情報を掲載して定期的に発行
- 各事業所で実施している内容を共有
- 地域に向けた活動を掲載
- 働きやすさ、労働環境について

ガイドライン

- 事業所毎に共有し内容を検討する機会を定期的に実施
- 職員の必要とする内容の見直しを実施

(2) SNS (Instagram、X、Facebook)、YouTube

- 職員のモチベーションアップに繋がる企画を検討し発信する
- 求職者・学生向けへの発信 (ボランティアを含む)
- SDGs「8 働きがいも経済成長も」への取り組みとして発信内容のコメントや反応などをアナリティクスなどの情報を分析し共有する
- 衛生委員会の内容等を発信する

(3) ホームページ

- 広報委員が中心となり部署内で広報活動を斡旋する

(4) サンちゃん (マスコットキャラクター)

- 職員から企画募集を行い実施する

4. 委員会メンバー

藤本主任 (委員長) 西本課長 (副委員長) 他各事業所から 1 名ずつ選出

5. 年間計画

月	内 容	
4月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	サンシャイン通信の内容見直し 理事長の新年度挨拶文掲載
5月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	施設内広報誌発行 (新入社員歓迎会・紹介)
6月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	
7月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行	夏祭りポスター作製 採用者むけチラシ作成

	YouTube、SNS、公式ライン更新	
8月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 サンシャイン通信発行(高校生向け) YouTube、SNS、公式ラインの更新	施設内広報誌発行（夏祭り） ワークショップのポスター作製
9月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	
10月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	ワークショップのポスター作製
11月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	
12月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	ワークショップのポスター作製
1月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	施設内広報誌発行（新年会）
2月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	次年度事業計画作成
3月	ホームページ更新 サンシャイン通信発行 YouTube、SNS、公式ラインの更新	事業報告作成 担当割り振り

令和6年度 地域活動推進委員会 計画書

1. 概要・目的

自助・互助・共助・公助、4つのバランスのとれた福祉と地域共生社会を実現するため、高齢者への福祉サービスのみならず、近隣住民との交流、施設機能の開放、学校教育への協力、情報の開示や共有、災害への備えなど地域における公益的な取組や地域活動を積極的に展開する。

また、SDGsの掲げる「誰ひとり取り残さない持続可能な社会」達成のため本委員会ができることを考え活動する。

2. 実施内容（手法）

【地域公益の視点】

- ・地域の福祉ニーズの調査と把握
 - 地域交流昼食会や出前講座等開催時にアンケート調査や聞き取りを行う（開催時）
 - 地域ネットワーク会議に出席する（毎月第2水曜日）
- ・自治会や学校等の各種団体との連携
 - 小豆島中央高校合同クリーン作戦を行う（6月）
 - 土庄保育園ハッピーハロウィーンにプレゼントを贈る（10月）
- ・地域行事への参加と協力
 - 東蒲生地区浜清掃（6月）、中東蒲生地区夏祭り（8月）、道普請（10月）に参加する
- ・施設機能の開放
 - 地域交流昼食会、マルシェ（5月、11月）、お一人暮らし高齢者を励ます会（12月）を開催する
- ・居場所づくり
 - サンちゃんビーチ、ロックガーデン、ハーブ栽培を行う（通年）
- ・SDGsの取り組み
 - クリーン作戦を行い、集めたペットボトルキャップを支援団体に寄付する（毎月）

【顧客の視点】

- ・出前講座の実施
 - 専門職による講義、演習、情報提供を行う（年6回）
 - 脳トレプリントやレシピ等の資料提供を行う（開催時）
 - 小豆島町と土庄町に出前講座リストを提出する（2月）
- ・利用者のクリーン作戦への参加
 - 気候が良い時期に参加可能な利用者にクリーン作戦に参加してもらおう（4月、5月、11月）
- ・各事業所利用者の作品展示
 - 郵便局等に作品展示を行い、地域の方に作品を見てもらえる機会を設ける（1月）

【業務プロセスの視点】

- ・委員会活動の運営と促進
 - 活動内容などを広報誌、ホームページ、SNSに掲載する（随時）
- ・出前講座マニュアルの作成
 - 職員が出前講座に参加しやすいようにマニュアルの作成、修正を行う（5月）

【学習と成長の視点】

- ・人材確保、職場体験プログラムの形成
 - ボランティア、実習生、職場体験、インターンシップを積極的に受入れる（随時）
 - 企業・就職説明会に参加する（11月）

3. 委員会メンバー

三浦課長（委員長）、山下主任（副委員長）、立花課長
森川美香、田中かおり、佐伯詞子、南堀説子

4.年間計画

月	月間行事	通年行事または随時開催
4月		<ul style="list-style-type: none"> ・実習生受入れ（四国医療専門学校、穴吹パティシエ福祉カレッジ、介護労働安定センター） ・インターンシップ受入れ（大学、島ワークプロジェクト） ・ボランティア受入れ（ホットハートサポーター） ・広報誌、ホームページ、SNS への掲載 ・出前講座の実施 ・地域ネットワーク会議（毎月第4水曜日） ・居場所づくり ・クリーン作戦
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流昼食会 ・サンシャインマルシェ 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・東蒲生地区浜清掃 ・小豆島中央高校合同クリーン作戦 	
7月		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・中東蒲生地区夏祭り ・夏祭りボランティア 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・小豆島中学校職場体験 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・道普請 ・土庄保育園ハッピーハロウィーン 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク事業所説明会 ・香川 JOB フェスタ 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・お一人暮らし高齢者を励ます会 ・餅つきボランティア 	
1月		
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座リスト提出 	
3月		

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
軽費老人ホームシーサイドサンシャイン

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

あなたらしさ応援プランを活用した個別支援計画を策定し、それに基づく自己実現を図ることにより、軽費老人ホームでのQOLを向上して生きがいに繋げる。軽費老人ホームとしての特性や利用者の個性を活かした地域での役割を考え、地域との関係性強化を図る。

入所者のうち、9割弱が要介護認定該当者となっており、介護保険のサービスを利用しながら軽費老人ホームでの生活が継続できるように支援していく。

感染症対策と災害に関するBCP策定を合わせて行い、平時からの備えを十分に実施することで、有事の際の対応がスムーズに行えるようにする。災害訓練や定期的なBCPの見直し、香川DWATなど積極的に活動を行い災害に備える。また、感染症対策を講じながら、できる限りの交流やオンライン面接、外出等ができるよう取り組んでいく必要がある。

地域との関わり方を考え、施設が地域にとって身近なものになるようにする。そのきっかけ作りとして、地域と関わりができる機会を検討する。サービス提供や地域との関わりの部分で重要となってくる職員のスキルアップに繋がる研修を実施し、共通認識を持って安定したサービス提供を実施できるようにする。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 多世代交流の機会の検討（最低年12回）
 - 小豆島中央高校、障がい、児童・保育分野との交流イベントの開催（せいけんじこども園他）
 - 学生ボランティア（年2回）・インターンシップ（年3名）の受入促進
- (2) ご利用者にあったサービスの検討や地域ニーズの調査
 - 地域住民とのイベント開催や情報の案内をする（年6回）（全体行事含む）
 - 軽費老人ホームの理解促進につなげるためのPRを実施する（SNS等も活用）
 - 地域と一緒に検討する場を作り、交流、協働行事を実施する
- (3) 香川おもいやりネットワーク事業の活用
 - 県社協と連携して香川おもいやりネットワーク事業の活用、広報の機会を作る（年4回）
 - 福祉フェアの開催（年1回）
- (4) 災害時対応に関する検討を実施
 - BCP策定、定期的な訓練（年1回）や内容の見直し、さまざまな災害に応じた計画書、マニュアルの作成
- (5) クリーン作戦への参加（14）海の豊かさを守ろう
 - 毎月実施するクリーン作戦に交代で参加をする（年間に全職員最低1回参加）

【財務の視点】

- (1) 事業計画と収支状況について比較、検討する
 - 事業計画内容の進行状況確認（3ヵ月に1回）、補助金や収支状況を分析する（月1回）
- (2) 体験利用居室の稼働率管理、分析結果の共有
 - 体験利用居室の利用促進のために案内方法を検討し地域住民や待機者に発信する（稼働率60%）
- (3) 助成金についての情報収集を実施
 - 事業運営や新たな取り組みに必要な助成金について情報収集をする（年4回）

【顧客の視点】

- (1) 地域と関わる機会を設定してニーズ調査を行う
 - 利用者満足度調査・家族アンケートの実施し、結果に応じた内容の検討する（年1回）
- (2) 個別支援計画に基づく支援の展開（3）すべての人に健康と福祉を
 - 利用者一人ひとりのアセスメントを行い、その人らしさ、強みを活かした支援を行う（随時）
 - ケアグロースを使用し個別支援計画策定、サービス実施、機能勉強会を実施（3ヵ月に1回）

- (3) 家族、地域とのコミュニケーションが図れる場づくりを検討
→家族会や家族との交流イベントを実施（年2回）
- (4) お便り情報・SNS等情報発信を見直し、状況報告効率化を検討する
→家族、地域への配信資料の内容、方法の見直しを実施する（年2回）
- (5) サービス内容の見直しを定期的に行う
→サービス内容、事故分析の可視化を定期的実施する（年4回）

【業務プロセスの視点】

- (1) マニュアル内容（苦情対応を含む）の情報更新を実施する
→マニュアル整備を実施する。感染症対策マニュアルを見直し（年2回）
- (2) 業務の効率化、省略化（8）働きがいも経済成長も
→ケアグロスとGoogleアプリを活用し、業務効率化のツールの検討を進める（年6回）
- (3) 出前講座等、世代間交流、ワークショップ等地域向けイベントの検討
→軽費老人ホームの特性を活かした地域住民が参加しやすいイベントの検討（年4回）

【学習の視点】

- (1) 研修計画の策定、実施内容の見直し（8）働きがいも経済成長も
（キャリアパス理解促進、目標設定、接遇力向上、人材育成、ケアグロス、SDGs）
→年間の研修計画を策定（年1回）、実施内容の見直し（年4回）、
- (2) 軽費老人ホームに合った地域活動の検討
→クラブ活動や行事を活かした地域住民と一緒にできる活動の実施（年4回）
- (3) 委員会の参加促進の検討
→委員会メンバーから情報共有する機会を作る（年4回）
- (4) 職員の働き甲斐や職務満足度の向上を図る
→希望休の調整と有給取得を実施（全職員有休消化率20%）
→1on1ミーティングを定期的に行いモチベーションアップや離職率低下を目指す（年6回）

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 17名（うち管理宿直 2名）
- (2) 勤務パターン

B	8:30~17:30	C	9:00~18:00	F	8:00~12:30
K	8:00~17:00	L	9:00~17:00	I	9:00~13:00
◆	9:30~翌13:00	◇	18:00~翌9:00		

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 50名
- (2) 利用日、利用時間 24時間 365日
- (3) 体験居室 2部屋

5. 利用料金一覧

別紙、軽費老人ホームシーサイドサンシャイン利用料金一覧表のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

- ・居室バリアフリー化工事
- ・ナースコール設備工事
- ・居室エアコン取り替え工事
- ・蛍光灯LED交換(全フロア)

軽費老人ホーム シーサイドサンシャイン 利用料一覧表

令和6年 4月 1日 現在

対象収入による階層区分		本人からの事務費徴収額 (月額) A	本人からの生活費 徴収額(月額) B	本人からの利用料 徴収額(月額) A + B
1	150 万円以下	10,000 円	57,300 円	67,300 円
2	150 万1円 ~ 160 万円まで	13,000		70,300
3	160 万1円 ~ 170 万円まで	16,000		73,300
4	170 万1円 ~ 180 万円まで	19,000		76,300
5	180 万1円 ~ 190 万円まで	22,000		79,300
6	190 万1円 ~ 200 万円まで	25,000		82,300
7	200 万1円 ~ 210 万円まで	30,000		87,300
8	210 万1円 ~ 220 万円まで	35,000		92,300
9	220 万1円 ~ 230 万円まで	40,000		97,300
10	230 万1円 ~ 240 万円まで	45,000		102,300
11	240 万1円 ~ 250 万円まで	50,000		107,300
12	250 万1円 ~ 260 万円まで	57,000		114,300
13	260 万1円 ~ 270 万円まで	64,000		121,300
14	270 万1円 ~ 280 万円まで	71,000		128,300
15	280 万1円 ~ 290 万円まで	78,000		135,300
16	290 万1円 ~ 300 万円まで	85,000		142,300
17	300 万1円 ~ 310 万円まで	93,000		150,300
18	310 万1円 ~ 320 万円まで	101,000		158,300
19	320 万1円 ~ 330 万円まで	109,000		166,300
20	330 万1円 ~ 340 万円まで	110,400		167,700
21	340 万1円以上	110,400		167,700
①	150 万円以下 (夫婦)	7,000	57,300	64,300

平成3年6月30日以前に入所した非課税者については、A階層として、1階層と同額の利用料を徴収する。

電気代 (10KW/h以上は 1KW/hにつき 27円)

暖房費 (11月から3月まで 2,100円/月額)

年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ クラフトクラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ グリーンクラブ 音読 誕生会 月例祭 春の遠足 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 軽費老人ホームの役割について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会		春の遠足 事業計画書共有
5月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 相談援助について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園交流 春の地域交流昼食会
6月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 面接技術について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 利用者健康診断		事業計画書進捗状況確認
7月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ グリーンクラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 介護認定手続きについて研修会		避難訓練(火災) 総合合同訓練(地震)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園交流
8月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 接遇研修		避難訓練(火災)				年次祭 創立記念夏祭り
9月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 敬老会 月例祭 買い物会 誕生会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 緊急時の対応について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園交流 小豆島町敬老会 事業計画書進捗状況確認

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
10月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 対人援助技術について勉強会		避難訓練(火災)		衛生委員会		
11月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 虐待防止について研修会		総合防災訓練(火災) 避難訓練(風水害)		衛生委員会 利用者健康診断 検尿		せいけんじこども園交流 秋の遠足 秋の地域交流昼食会
12月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ 筋トレクラブ		カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ グリーンクラブ 音読 クリスマス誕生忘年会 月例祭 餅つき 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 介護の気づきについて 研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会		一人暮らし高齢者励ます会 事業計画書進捗状況確認
1月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ 筋トレクラブ		カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 元旦祭・初詣・茶話会 とんど 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 マニュアルの見直しについて 研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園交流
2月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) 健康クラブ 筋トレクラブ		カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ グリーンクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 機能訓練について研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会		
3月		書道クラブ 絵手紙クラブ 映画鑑賞会 音楽クラブ カラオケクラブ にこにこカフェ お楽しみ会(月2回) グリーンクラブ 健康クラブ		筋トレクラブ カレンダー作り 塗り絵クラブ クラフトクラブ 音読 誕生会 月例祭 買い物会		サービス会議 ケア会議 職員会議 事故に関する研修会 感染症に関する研修会 認知症の理解について 研修会		避難訓練(火災)		衛生委員会 検尿		せいけんじこども園交流 事業報告書作成

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
特別養護老人ホームリベラルサンシャイン本館

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

要介護3以上と認定された高齢者を受け入れ、食事・入浴・排泄・機能訓練・健康管理など生活全般の介護を提供する。施設に入所しても利用者一人ひとりがその人らしく尊厳ある暮らしを継続出来るよう支援する。昨今では積極的な治療は希望せず、施設での看取りケアを希望する利用者、家族が大半である。本人の意向に沿った最期を迎える事が出来るよう家族、多職種で連携を図り看取りケアの充実を図る。

新型コロナウイルス感染症は昨年5類に移行したが、病原性や感染力が衰えるわけではなく、国民生活が活発化することで、むしろ高齢者の感染・重症化のリスクが高まる可能性も考えられる。今後も適切に感染対策を行い、感染者が発生しても適切な対応が出来るよう日頃から訓練を行っていく。

短期入所生活介護は、家族の身体的および精神的な負担等の軽減を図り、利用者が安心して入浴、排泄、食事等の日常生活の介護や日中の余暇活動の充実を図る等、利用者の満足度向上に努める。令和5年度も新型コロナウイルスや胃腸炎等の感染症の影響により稼働率が低下する月もあった。受け入れ時には体調確認等を十分に行い施設内にウイルスを持ち込まないように徹底する。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生、職場体験、ボランティアの受け入れ(随時)
→行事の共催、地域のサロン活動参加(随時)
- (2) 地域公益活動、交流行事の参加
→SDGs「14海の豊かさを守ろう」を目標にクリーン作戦への参加(月1回)
→小豆島中央高校合同クリーン作戦への参加、地元地区道普請への参加(年1回)
→園児・学生との交流(随時)、地域住民との交流行事の開催(随時)
→緊急ショートステイの受け入れ(随時)
→小学校へ作品(雑巾)の寄贈、SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標にペットボトルの蓋を集め、ワクチン寄付に繋げる(年1回)
→作品の展示、地域行事への参加(随時)

【財務の視点】

- (1) 稼働率の向上
→待機者整理、優先入所検討委員会の開催、介護支援専門員との連携による円滑な入退所調整
→利用者の健康管理を行い病状の早期発見に努め病状の悪化を防ぐ
→地域公益活動やSNSで取り組みを発信することで認知度を高め、新規利用者の確保に繋げる(随時)
→ノーリフティングケアの取り組みや利用者選ばれ続ける為の介護技術、サービスの質の向上を図る(通年)
→介護支援専門員と連携を図り、空床ショート活用の活用(随時)
→適切に感染対策を行い、サービスの継続に努める
- (2) 加算や必要経費の見直し、物価高騰対策
→加算取得内容、助成金、交付金についての把握、事務課との連携(随時)
→老朽化による設備や備品の修繕等の必要経費、内容について検討(通年)
→節水、節電の呼びかけ、啓発活動
→消耗品の見直し

【顧客の視点】

- (1) 本人の ADL に応じた安全な介護の提供
 - 施設内研修・外部研修に積極的に参加し介護技術の向上に努める
 - OJT の取り組み
 - 包括式自立支援プログラムを活用したアセスメントの実施
 - 自立支援に向けたケアプランの作成と実施
- (2) 利用者、家族の満足度の向上
 - 嘱託医との連携を図り健康管理を行う
 - 利用者・家族の意向をサービス内容に反映する（随時）
 - 速やかな報告・連絡・相談を行うことで家族との信頼関係の構築（随時）
 - 個別支援の充実と季節感を取り入れた施設行事の企画と実施（随時）
 - 広報誌、SNS 活用による取り組み内容の発信（随時）
 - アンケートの実施（年 1 回）
- (3) 事故防止、再発防止に向けた取り組み
 - 事故防止委員会にて事故の分析（月 1 回）
 - 事故のリスクを最小限に抑えるための環境整備を定期的に行う
 - チームワークの強化によるリスクの早期発見
 - ヒヤリハットの積極的な提出による重大事故の防止
- (4) 利用者の能力維持、安全で快適な生活の支援→SDGs「3 すべての人に健康と福祉を」
 - 利用者の状態を把握し、個別機能訓練計画書を作成（3 ヶ月毎）
 - 多職種連携し個々のニーズに沿った個別機能訓練を実施（通年）
 - 利用者の状態に応じた動作・介助方法の検討、環境設定、福祉用具の選定を実施（通年）
 - 安全面に配慮したうえで利用者の負担とならない範囲で自立した生活動作を促し、能力維持に繋げる（通年）
 - 拘縮・褥瘡予防、安楽な姿勢保持のためのポジショニング・シーティングを検討・実施（通年）

【業務プロセスの視点】

- (1) 非常災害対策、感染症対策の徹底
 - BCP(非常災害・感染症)に基づいた研修の実施、訓練（シュミレーション）（年 2 回）
 - 訓練後 BCP、マニュアルの見直し・改定（随時）
 - 設備、備品、備蓄の定期的な確認、補充（通年）
- (2) ICT を活用し業務の効率化と介護負担の軽減
 - ICT 環境を整え、業務の効率化（通年）
 - ノーリフティングケアに取り組むことで利用者に安心、安全な介護の提供、職員の介護負担の軽減を図る（通年）
- (3) 設備や備品の維持管理
 - 車両点検の実施（月 1 回）
 - 設備、備品の点検の実施（月 1 回）
- (4) 介護人材確保・離職率の低下
 - 介護実習、インターンシップの積極的な受け入れ
 - 職員満足度の向上に向けた業務改善を行う
 - 業務の効率化と省略化
 - 有給休暇 5 日以上取得
 - 職員間での相互理解を図り良好な職場を作る

【学習の視点】

- (1) 職員の資質向上のための研修の開催→ SDGs「8 働きがいも経済成長も」
 - リベラル独自の看取りケアを確立するためのマニュアル・サービス内容の見直し（随時）
 - 職員主体の研修会、OJT の開催（毎月）
 - 外部研修への参加（随時）
 - 専門性の向上、資格取得に向けた学習の支援（通年）
 - パソコンスキルの向上
 - 担当委員会への参加（毎月）

3. 職員体制・勤務状況等

(1) 人員 ※長期・短期を含む職員配置

() 内は非常勤職員

生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員 機能訓練指導員	クリーンスタッフ	合計
1名	兼務3名	22名(3) 兼務2名	4名	2名 (2)	32名

(2) 勤務パターン

別紙のとおり

4. 定員 (利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

(1) 定員 50名 ショート 10名

(2) 利用日、利用時間 24時間 365日

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他 (上記に記載されていない内容)

- ・介護浴槽(トウツテイ)買い替え
- ・電動ベッド3台買い替え
- ・多床室扉設置 (感染症対策)

特別養護老人ホームリベラルサンシャイン 料金一覧表

令和6年4月1日現在

〈従来型〉

●多床室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(日額)	負担限度額	食費(日額)	居住費(日額)	合計金額(月額)
介護度1	658 (589+18+6+22+11+12)	第1段階	300	0	28,740 円
		第2段階	390	370	42,540 円
		第3段階①	650	370	50,340 円
		第3段階②	1,360	370	71,640 円
		第4段階	1,445	855	88,740 円
介護度2	728 (659+18+6+22+11+12)	第1段階	300	0	30,840 円
		第2段階	390	370	44,640 円
		第3段階①	650	370	52,440 円
		第3段階②	1,360	370	73,740 円
		第4段階	1,445	855	90,840 円
介護度3	801 (732+18+6+22+11+12)	第1段階	300	0	33,030 円
		第2段階	390	370	46,830 円
		第3段階①	650	370	54,630 円
		第3段階②	1,360	370	75,930 円
		第4段階	1,445	855	93,030 円
介護度4	871 (802+18+6+22+11+12)	第1段階	300	0	35,130 円
		第2段階	390	370	48,930 円
		第3段階①	650	370	56,730 円
		第3段階②	1,360	370	78,030 円
		第4段階	1,445	855	95,130 円
介護度5	940 (871+18+6+22+11+12)	第1段階	300	0	37,200 円
		第2段階	390	370	51,000 円
		第3段階①	650	370	58,800 円
		第3段階②	1,360	370	80,100 円
		第4段階	1,445	855	97,200 円

●個室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(日額)	負担限度額	食費(日額)	居住費(日額)	合計金額(月額)
介護度1	658 (589+18+6+22+11+12)	第1段階	300	320	38,340 円
		第2段階	390	420	44,040 円
		第3段階①	650	820	63,840 円
		第3段階②	1,360	820	85,140 円
		第4段階	1,445	1,171	98,220 円
介護度2	728 (659+18+6+22+11+12)	第1段階	300	320	40,440 円
		第2段階	390	420	46,140 円
		第3段階①	650	820	65,940 円
		第3段階②	1,360	820	87,240 円
		第4段階	1,445	1,171	100,320 円
介護度3	801 (732+18+6+22+11+12)	第1段階	300	320	42,630 円
		第2段階	390	420	48,330 円
		第3段階①	650	820	68,130 円
		第3段階②	1,360	820	89,430 円
		第4段階	1,445	1,171	102,510 円
介護度4	871 (802+18+6+22+11+12)	第1段階	300	320	44,730 円
		第2段階	390	420	50,430 円
		第3段階①	650	820	70,230 円
		第3段階②	1,360	820	91,530 円
		第4段階	1,445	1,171	104,610 円
介護度5	940 (871+18+6+22+11+12)	第1段階	300	320	46,800 円
		第2段階	390	420	52,500 円
		第3段階①	650	820	72,300 円
		第3段階②	1,360	820	93,600 円
		第4段階	1,445	1,171	106,680 円

※上記の負担額に介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ支援加算が加わります
内訳(日額)

介護福祉施設サービス費、サービス提供体制強化加算(Ⅱ)(18円)、看護体制加算(Ⅰ)イ(6円)

夜勤職員配置加算(Ⅰ)イ(22円)、栄養マネジメント強化加算(11円)、個別機能訓練加算(12円)

※介護職員処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×8.3%の1割負担(月により変動))

※介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×2.7%の1割負担(月により変動))

※介護職員等ベースアップ等支援加算(月の実総単位数×1.6%の1割負担(月により変動))

その他加算(日額)(該当する場合のみ)

・外泊時費用 … 246円 ・初期加算 … 30円 ・療養食加算 … 6円/回

・退所時情報提供加算 … 250円/回

死亡日以前31日以上45日以下1日につき72円、死亡日以前4日以上30日以下1日につき144円、死亡日の前日及び前々日につ

いては1日につき680円、死亡日については1日につき1,280円

※上記合計にはその他加算は含まれておりません。該当する場合のみ各加算の金額を合計に足した金額が1ヶ月あたりの総額となります。

特別養護老人ホームリベラルサンシャイン 料金一覧表(2割)

令和6年4月1日現在

〈従来型〉

●多床室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(月額)	負担限度額	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	1284 (589+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	0	47,520 円
		第2段階	390	370	61,320 円
		第3段階①	650	370	69,120 円
		第3段階②	1,360	370	90,420 円
		第4段階	1,445	855	107,520 円
介護度2	1420 (659+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	0	51,600 円
		第2段階	390	370	65,400 円
		第3段階①	650	370	73,200 円
		第3段階②	1,360	370	94,500 円
		第4段階	1,445	855	111,600 円
介護度3	1562 (732+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	0	55,860 円
		第2段階	390	370	69,660 円
		第3段階①	650	370	77,460 円
		第3段階②	1,360	370	98,760 円
		第4段階	1,445	855	115,860 円
介護度4	1698 (802+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	0	59,940 円
		第2段階	390	370	73,740 円
		第3段階①	650	370	81,540 円
		第3段階②	1,360	370	102,840 円
		第4段階	1,445	855	119,940 円
介護度5	1832 (871+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	0	63,960 円
		第2段階	390	370	77,760 円
		第3段階①	650	370	85,560 円
		第3段階②	1,360	370	106,860 円
		第4段階	1,445	855	123,960 円

●個室

要介護度	介護福祉サービス費 一部負担分(月額)	負担限度額	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	1284 (589+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	320	57,120 円
		第2段階	390	420	62,820 円
		第3段階①	650	820	82,620 円
		第3段階②	1,360	820	103,920 円
		第4段階	1,445	1,171	117,000 円
介護度2	1420 (659+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	320	61,200 円
		第2段階	390	420	66,900 円
		第3段階①	650	820	86,700 円
		第3段階②	1,360	820	108,000 円
		第4段階	1,445	1,171	121,080 円
介護度3	1562 (732+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	320	65,460 円
		第2段階	390	420	71,160 円
		第3段階①	650	820	90,960 円
		第3段階②	1,360	820	112,260 円
		第4段階	1,445	1,171	125,340 円
介護度4	1698 (802+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	320	69,540 円
		第2段階	390	420	75,240 円
		第3段階①	650	820	95,040 円
		第3段階②	1,360	820	116,340 円
		第4段階	1,445	1,171	129,420 円
介護度5	1832 (871+18+6+22+11+12)×2	第1段階	300	320	73,560 円
		第2段階	390	420	79,260 円
		第3段階①	650	820	99,060 円
		第3段階②	1,360	820	120,360 円
		第4段階	1,445	1,171	133,440 円

※上記の負担額に介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ支援加算が加わります
内訳(月額)

介護福祉施設サービス費、サービス提供体制強化加算(Ⅱ)(18円)、看護体制加算(Ⅰ)イ(6円)

夜勤職員配置加算(Ⅰ)イ(22円)、栄養マネジメント強化加算(11円)、個別機能訓練加算(12円)

※介護職員処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×8.3%の1割負担(月により変動))

※介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×2.7%の1割負担(月により変動))

※介護職員等ベースアップ等支援加算(月の実総単位数×1.6%の2割負担(月により変動))

その他加算(月額)(該当する場合のみ)

・外泊時費用 … 492円 ・初期加算 … 60円 ・療養食加算 … 12円/回

・退所時情報提供加算 … 250円/回

死亡日以前31日以上45日以下1日につき144円、死亡日以前4日以上30日以下1日につき288円、死亡日の前日及び前々日については1日につき1,360円、死亡日については1日につき2,560円

※上記合計にはその他加算は含まれておりません。該当する場合のみ各加算の金額を合計に足した金額が1ヶ月あたりの総額となります。

リベラルサンシャイン ショートステイ 料金一覧表

令和6年4月1日現在

●多床室

要介護度	短期入所生活介護費 一部負担分	サービス提供 加算Ⅱ	夜勤職員配 置加算	食費	居住費	利用料(日額)
要支援1	451	18		1,445	855	2,769 円
要支援2	561	18		1,445	855	2,879 円
要介護1	603	18	13	1,445	855	2,934 円
要介護2	672	18	13	1,445	855	3,003 円
要介護3	745	18	13	1,445	855	3,076 円
要介護4	815	18	13	1,445	855	3,146 円
要介護5	884	18	13	1,445	855	3,215 円

●個室

要介護度	短期入所生活介護費 一部負担分	サービス提供 加算Ⅱ	夜勤職員配 置加算	食費	居住費	利用料(日額)
要支援1	451	18		1,445	1,171	3,085 円
要支援2	561	18		1,445	1,171	3,195 円
要介護1	603	18	13	1,445	1,171	3,250 円
要介護2	672	18	13	1,445	1,171	3,319 円
要介護3	745	18	13	1,445	1,171	3,392 円
要介護4	815	18	13	1,445	1,171	3,462 円
要介護5	884	18	13	1,445	1,171	3,531 円

上記金額に加算されるもの

- ①送迎加算 片道184円
- ②介護職員処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×8.3%(月により変動))
- ③介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×2.7%(月により変動))
- ④介護職員等ベースアップ等支援加算(月の実総単位数×1.6%の1割負担(月により変動))

尚、食費、居住費は世帯収入により以下の負担段階が適用される場合があります。

利用者負担段階	所得要件	資産要件
第1段階	世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金受給者	預貯金等が1,000万円以下の方 (夫婦で2,000万円以下の方)
	生活保護受給者	
第2段階	世帯全員が市民税非課税の方で、その他の合計所得金額と年金収入額の合計が80万円以下の方	預貯金等が650万円以下の方 (夫婦で1,650万円以下の方)
第3段階①	世帯全員が市民税非課税の方で、その他の合計所得金額と年金収入額の合計が80万円超120万円以下の方	預貯金等が550万円以下の方 (夫婦で1,550万円以下の方)
第3段階②	世帯全員が市民税非課税の方で、その他の合計所得金額と年金収入額の合計が120万円を超える方	預貯金等が500万円以下の方 (夫婦で1,500万円以下の方)
第4段階 (非該当)	本人が市民税非課税で世帯員に市民税課税者がいる方	利用者負担段階に応じた上記資産要件を満たさな
	本人が市民税課税の方	
	配偶者が市民税課税の方(世帯が分離している配偶者を含む)	

リベラルサンシャイン ショートステイ 料金一覧表

令和6年4月1日現在

●多床室

要介護度	短期入所生活介護費 一部負担分	サービス提 供加算Ⅱ	夜勤職員配 置加算	食費	居住費	利用料(日額)
要支援1	902	36		1,445	855	3,238 円
要支援2	1122	36		1,445	855	3,458 円
要介護1	1206	36	26	1,445	855	3,568 円
要介護2	1344	36	26	1,445	855	3,706 円
要介護3	1490	36	26	1,445	855	3,852 円
要介護4	1630	36	26	1,445	855	3,992 円
要介護5	1768	36	26	1,445	855	4,130 円

●個室

要介護度	短期入所生活介護費 一部負担分	サービス提 供加算Ⅱ	夜勤職員配 置加算	食費	居住費	利用料(日額)
要支援1	902	36		1,445	1,171	3,554 円
要支援2	1122	36		1,445	1,171	3,774 円
要介護1	1206	36	26	1,445	1,171	3,884 円
要介護2	1344	36	26	1,445	1,171	4,022 円
要介護3	1490	36	26	1,445	1,171	4,168 円
要介護4	1630	36	26	1,445	1,171	4,308 円
要介護5	1768	36	26	1,445	1,171	4,446 円

上記金額に加算されるもの

- ①送迎加算 片道368円
- ②介護職員処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×8.3%(月により変動))
- ③介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)(月の実総単位数×2.7%(月により変動))
- ④介護職員等ベースアップ等支援加算(月の実総単位数×1.6%の1割負担(月により変動))

尚、食費、居住費は世帯収入により以下の負担段階が適用される場合があります。

利用者負担段階	所得要件	資産要件
第1段階	世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金受給者	預貯金等が1,000万円以下の方 (夫婦で2,000万円以下の方)
	生活保護受給者	
第2段階	世帯全員が市民税非課税の方で、その他の合計所得金額と年金収入額の合計が80万円以下の方	預貯金等が650万円以下の方 (夫婦で1,650万円以下の方)
第3段階①	世帯全員が市民税非課税の方で、その他の合計所得金額と年金収入額の合計が80万円超120万円以下の方	預貯金等が550万円以下の方 (夫婦で1,550万円以下の方)
第3段階②	世帯全員が市民税非課税の方で、その他の合計所得金額と年金収入額の合計が120万円を超える方	預貯金等が500万円以下の方 (夫婦で1,500万円以下の方)
第4段階 (非該当)	本人が市民税非課税で世帯員に市民税課税者がいる方	利用者負担段階に応じた上記資産要件を満たさな
	本人が市民税課税の方	
	配偶者が市民税課税の方(世帯が分離している配偶者を含む)	

年間行事等実施計画

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	上旬 20	春の遠足 誕生会 お楽しみ会 月例祭	上旬 上旬 10 20 25	新人職員研修 リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦 ゴミブリ駆除
5月	上旬 20	地域交流昼食会 誕生会 お楽しみ会 月例祭	上旬 10 20 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 OJT研修(緊急時の対応について) 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 防火機器点検 クリーン作戦 空調切り替え 新人職員歓迎会
6月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	中旬 下旬	火災避難訓練(特養) 火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 健康診断(職員) 腰痛検査(職員) 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
7月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
8月	10 10 20	創立祭 創立記念夏祭り 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 水曜 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 OJT研修(口腔衛生に関する指導) ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同) BCP研修	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
9月	中旬 20	敬老会 高齢者訪問 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 レジオネラ菌検査 クリーン作戦

項目 月	行事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
10月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦 空調切り替え
11月	上旬 上旬 20	地域交流昼食会 秋の遠足 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 水曜 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 OJT研修(口腔衛生に関 する指導) 勉強会 ユニット会議 職員会議	上旬	総合防災訓練(特養) (消防来所) シェイクアウト	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦 ゴキブリ駆除
12月	上旬 20 28	お一人暮らし高齢者を 励ます会 月例祭 クリスマス誕生会 餅つき お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同) 非常災害避難訓練	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
1月	1 2 3 20	元旦祭 初詣 茶話会 茶話会 茶話会 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同) 火災避難訓練(特養)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
2月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 健康診断(職員) 腰痛検査(職員) 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
3月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血圧測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 レジオネラ菌検査 クリーン作戦

職員研修計画(令和6年)

(リベラルサンシャイン)

月	内容	詳細
4月	新人職員研修	オリエンテーション(法令順守・感染症予防・事故発生防止について・身体拘束)
	勉強会	認知症について
5月	OJT研修	緊急時の対応について・心肺蘇生
	勉強会	身体拘束・虐待防止について
6月	勉強会 (訓練)	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について(座学、訓練)
		プライバシーの保護の取り組みについて
7月	勉強会	褥瘡予防について
8月	OJT研修	口腔衛生に関する指導
	勉強会	BCPIについて(座学、訓練)
9月	勉強会	事故防止・事故後の対応について
10月	勉強会 (訓練)	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について(座学、訓練)
		精神的ケアに関する研修
11月	OJT研修	口腔衛生に関する指導
	勉強会	緊急時の対応について・心肺蘇生
12月	勉強会	BCPIについて(座学、訓練)
1月	勉強会	身体拘束・虐待防止について
2月	勉強会	看取りケアについて
3月	勉強会	事故防止・事故後の対応について
	勉強会	・災害の際の緊急、感染の勉強会 ・コンプライアンス(法令遵守)・ハラスメント

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
特別養護老人ホームリベラルサンシャイン別館

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

地域共生社会を目指し、居宅への復帰を念頭においてユニットケアに取り組む。利用者一人ひとりがその人らしい尊厳のある暮らしを継続できるよう、ケアプランに基づいた食事や入浴、排泄、機能訓練、健康管理など個別のサービスを提供する。昨今では積極的な治療は希望せず、施設での看取りケアを希望する利用者、家族が増えている。本人の意向に沿った最期を迎える事ができるよう家族、多職種で連携を図り看取りケアの充実を図る。

新型コロナウイルス感染症は昨年5類に移行したが、病原性や感染力が衰えるわけではなく、国民生活が活発化することで、むしろ高齢者の感染・重症化のリスクが高まる可能性も考えられる。感染状況によっては面会や外出を制限する事も有り、利用者への影響はまだまだ大きい。家族との面会もオンラインを活用する等、ICTの活用が求められる。

短期入所生活介護（空床型）では、介護支援専門員と連携を図りながら、緊急の受け入れも積極的に行っていく。空床時のみの稼働になるが利用者、家族の意向に沿った丁寧な対応を行う。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→職場体験、ボランティアの受け入れ(随時)
→行事の共催、サロン活動参加(随時)
- (2) 地域公益活動、交流行事の参加
→SDGs「14海の豊かさを守ろう」を目標にクリーン作戦への参加（月1回）
→小豆島中央高校合同クリーン作戦への参加、地元地区道普請への参加（年1回）
→園児・学生との交流（随時）、地域住民との交流行事の開催（随時）
→小学校へ作品（雑巾）の寄贈、SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標にペットボトルの蓋を集め、ワクチン寄付に繋げる（年1回）
- (3) 地域・各関係機関との関係性の構築
→運営推進会議の実施による家族・地域との連携強化（年6回）

【財務の視点】

- (1) 稼働率の向上
→待機者整理、優先入所検討委員会の開催、介護支援専門員との連携による円滑な入退所調整
→利用者の健康管理を行い病状の早期発見に努め病状の悪化を防ぐ
→地域公益活動やSNSで取り組みを発信することで認知度を高め、新規利用者の確保に繋げる（随時）
→ノーリフティングケアの取り組みや利用者には選ばれ続ける為の介護技術、サービスの質の向上を図る(通年)
→多職種との連携を図り、入院者の空床を活用する（随時）
→適切な感染対策を行い、サービスの継続に努める。
- (2) 加算や必要経費の見直し、物価高騰対策
→加算取得内容、助成金、交付金についての把握、事務課との連携（随時）
→老朽化による設備や備品の修繕等の必要経費、内容について検討（通年）
→節水、節電の呼びかけ、啓発活動
→消耗品の見直し

【顧客の視点】

- (1) 本人のADLに応じた安全な介護の提供
→施設内研修・外部研修に積極的に参加し介護技術の向上に努める
→OJTの取り組み
→包括式自立支援プログラムを活用したアセスメントの実施

- 自立支援に向けたケアプランの作成と実施
- (2) 利用者、家族の満足度の向上
 - 嘱託医との連携を図り健康管理を行う
 - 利用者・家族に意向をサービス内容に反映する（随時）
 - 速やかな報告・連絡・相談を行うことで家族との信頼関係の構築（随時）
 - 個別支援の充実と季節感を取り入れた施設行事の企画と実施（随時）
 - 広報誌、SNS 活用による取り組み内容の発信（随時）
 - アンケートの実施（年1回）
- (3) 事故防止、再発防止に向けた取り組み
 - 事故防止委員会にて事故の分析（月1回）
 - 事故のリスクを最小限に抑えるための環境整備を定期的に行う
 - チームワークの強化によるリスクの早期発見
 - ヒヤリハットの積極的な提出による重大事故の防止
- (4) 利用者の能力維持、安全で快適な生活の支援を提供→SDGs「3 すべての人に健康と福祉を」
 - 利用者の状態を把握し、個別機能訓練計画書を作成（3ヵ月毎）
 - 多職種連携し個々のニーズに沿った個別機能訓練を実施（通年）
 - 利用者の状態に応じた動作・介助方法の検討、環境設定、福祉用具の選定を実施（通年）
 - 安全面に配慮したうえで利用者の負担とならない範囲で自立した生活動作を促し、能力維持に繋げる（通年）
 - 拘縮・褥瘡予防、安楽な姿勢保持のためのポジショニング・シーティングを検討・実施（通年）

【業務プロセスの視点】

- (1) 非常災害対策、感染症対策の徹底
 - BCP(非常災害・感染症)に基づいた研修の実施、訓練（シュミレーション）（年2回）
 - 訓練後 BCP、マニュアルの見直し・改定（随時）
 - 設備、備品、備蓄の定期的な確認、補充（通年）
- (2) ICT を活用し業務の効率化と介護負担の軽減
 - ICT 環境を整え、業務の効率化（通年）
 - ノーリフティングケアに取り組むことで利用者に安心、安全な介護の提供、職員の介護負担の軽減を図る（通年）
- (3) 設備や備品の維持管理
 - 車両点検の実施（月1回）
 - 設備、備品の点検の実施（月1回）
- (4) 介護人材確保・離職率の低下
 - 介護実習、インターンシップの積極的な受け入れ
 - 職員満足度の向上に向けた業務改善を行う
 - 業務の効率化と省略化
 - 有給休暇5日以上の取得
 - 職員間での相互理解を図り良好な職場を作る

【学習の視点】

- (1) 職員の資質向上のための研修の開催→ SDGs「8 働きがいも経済成長も」
 - リベラル独自の看取りケアを確立するためのマニュアル・サービス内容の見直し（随時）
 - 職員主体の研修会、OJT の開催（毎月）
 - 外部研修への参加（随時）
 - 専門性の向上、資格取得に向けた学習の支援（通年）
 - パソコンスキルの向上
 - 担当委員会への参加（毎月）

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 ※長期・短期を含む職員配置 () 内は非常勤職員

生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員 機能訓練指導員	クリーンスタッフ	合計
1名	兼務 1名	9名	4名	1名 (1)	15名

- (2) 勤務パターン
別紙のとおり

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 20 名
(2) 利用日、利用時間 24 時間 365 日

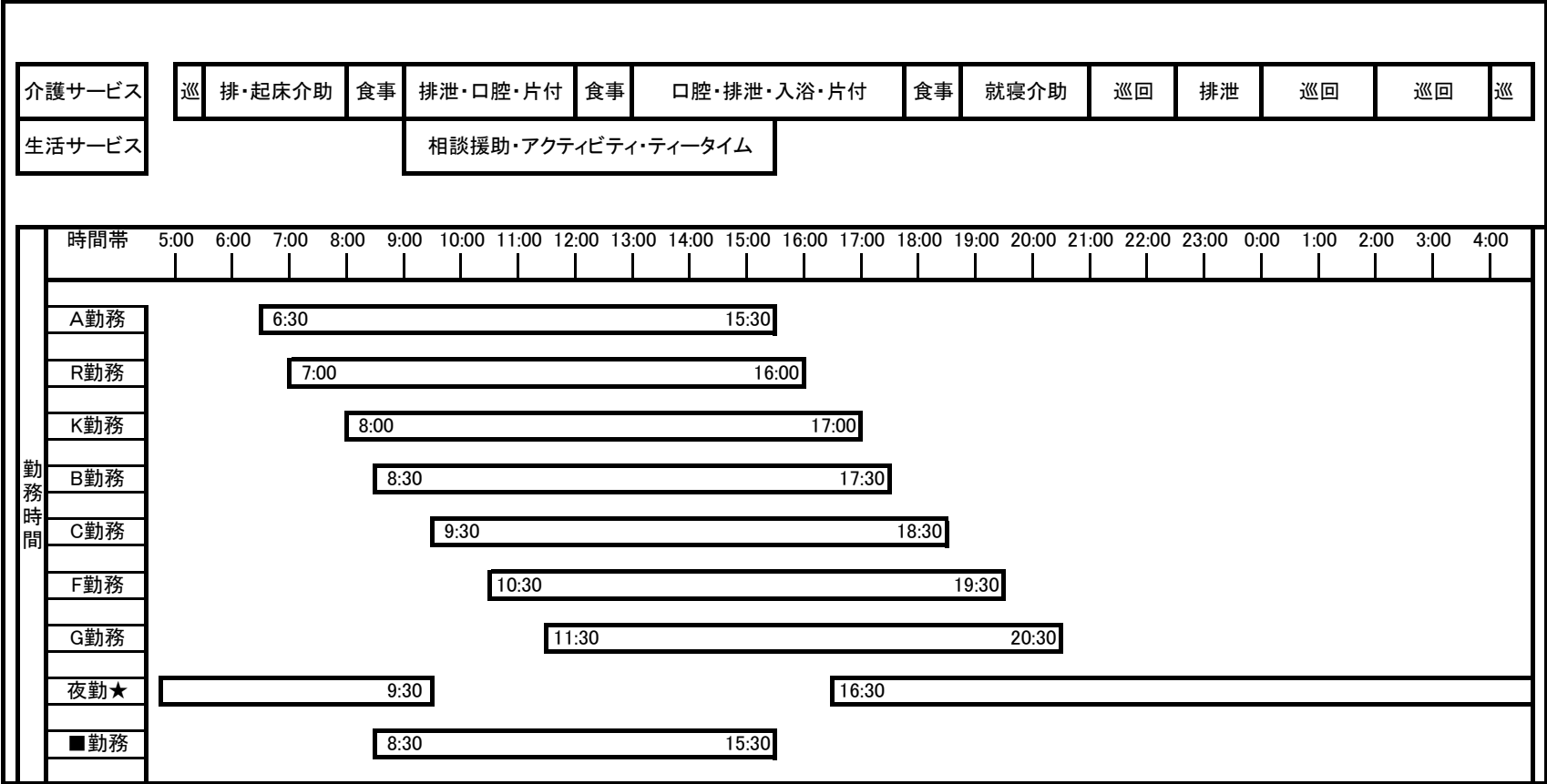
5. 利用料金一覧
別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等
別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

- ・ベッドマット交換 3 枚
- ・エアコン 8 台
- ・居室洗面台 部品交換 10 台
- ・機械浴槽修理

リベラルサンシャイン別館 勤務パターン



特別養護老人ホームリベラルサンシャイン別館 料金一覧表

令和6年4月1日

〈ユニット型地域密着型〉 ●個室

要介護度	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護費一部負担分(月額)	介護保険料負担段階	食費(月額)	居住費(月額)	合計金額(月額)
介護度1	739 (682+22+12+11+12)	第1段階	300	820	55,770 円
		第2段階	390	820	58,470 円
		第3段階①	650	1,310	80,970 円
		第3段階②	1,360	1,310	102,270 円
		第4段階	1,445	2,006	125,700 円
介護度2	810 (753+22+12+11+12)	第1段階	300	820	57,900 円
		第2段階	390	820	60,600 円
		第3段階①	650	1,310	83,100 円
		第3段階②	1,360	1,310	104,400 円
		第4段階	1,445	2,006	127,830 円
介護度3	885 (828+22+12+11+12)	第1段階	300	820	60,150 円
		第2段階	390	820	62,850 円
		第3段階①	650	1,310	85,350 円
		第3段階②	1,360	1,310	106,650 円
		第4段階	1,445	2,006	130,080 円
介護度4	958 (901+22+12+11+12)	第1段階	300	820	62,340 円
		第2段階	390	820	65,040 円
		第3段階①	650	1,310	87,540 円
		第3段階②	1,360	1,310	108,840 円
		第4段階	1,445	2,006	132,270 円
介護度5	1028 (971+22+12+11+12)	第1段階	300	820	64,440 円
		第2段階	390	820	67,140 円
		第3段階①	650	1,310	89,640 円
		第3段階②	1,360	1,310	110,940 円
		第4段階	1,445	2,006	134,370 円

※上記の負担額に介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算・介護職員等ベースアップ支援加算が加わります
内訳(月額)

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護費、サービス提供体制強化加算Ⅰ(22円)、看護体制加算Ⅰイ(12円)

栄養マネジメント強化加算(11円)、個別機能訓練加算(12円)

※介護職員処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×8.3%の1割負担(月により変動))

※介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×2.7%の1割負担(月により変動))

※介護職員等ベースアップ支援加算(月の実総単位数×1.6%の1割負担(月により変動))

その他加算(月額)(該当する場合のみ)

・外泊時費用…246円 ・初期加算…30円 ・療養食加算…6円/回 ・退所時情報提供加算…250円/回

・看取り介護加算(死亡日以前31日以上45日以下1日につき72円、死亡日以前4日以上30日以下1日につき144円)

(死亡日の前日及び前々日については1日につき680円、死亡日については1日につき1,280円)

※上記合計にはその他加算は含まれておりません。該当する場合のみ各加算の金額を合計に足した金額が1ヶ月あたりの総額となります。

リベラルサンシャイン別館 ショートステイ 料金一覧表

(香川県指定 第3771200593号)

令和 6年 4月 1日現在

●個室〔併設型・空床型ユニット型〕

要介護度	併設型ユニット型短期入所生活介護費一部負担分	サービス提供加算 I	食費	居住費	利用料(日額)
要支援1	529	22	1,445	2,006	4,002 円
要支援2	656	22	1,445	2,006	4,129 円
要介護1	704	22	1,445	2,006	4,177 円
要介護2	772	22	1,445	2,006	4,245 円
要介護3	847	22	1,445	2,006	4,320 円
要介護4	918	22	1,445	2,006	4,391 円
要介護5	987	22	1,445	2,006	4,460 円

上記金額に加算されるもの

- ①送迎加算 片道184円
- ②介護職員処遇改善加算 I (月の実総単位数×8.3%(月により変動))
- ③介護職員等特定処遇改善加算(I)(月の実総単位数×2.7%(月により変動))
- ④短期生活ベースアップ等支援加算(月の実総単位数×1.6%の1割負担(月により変動))

尚、食費、居住費は世帯収入により以下の負担段階が適用される場合があります。

負担限度額 対象者		介護保険料負担段階
生活保護受給者		第1段階
高齢福祉年金受給者		
世帯全員が市町村民税非課税者	課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以下の方	第2段階
	利用者負担第2段階以外の方(課税年金収入額と合計所得の合計が80万円以上120万円以下の方)	第3段階①
	利用者負担第2段階以外の方(課税年金収入額と合計所得の合計が120万円以上の方)	第3段階②
上記以外の方(課税層)		第4段階

年間行事等実施計画

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	上旬	春の遠足 誕生会 お楽しみ会 月例祭	上旬	新人職員研修 リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦 ゴミブリ駆除
	20		10				水曜/週			
5月	上旬	地域交流昼食会 誕生会 お楽しみ会 月例祭	上旬	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 OJT研修(緊急時の対応に ついて・心肺蘇生) 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 防火機器点検 クリーン作戦 空調切り替え 新人職員歓迎会
	20		10				水曜/週			
6月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	中旬	火災避難訓練(特養) 火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 健康診断(職員) 腰痛検査(職員) 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
			10		下旬		水曜/週			
7月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
			10				水曜/週			
8月	10	創立祭 創立記念夏祭り 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 OJT研修(口腔衛生に関す る指導) ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同) BCP研修	火曜/週	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
	10		10				水曜			
9月	中旬	敬老会 高齢者訪問 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 レジオネラ菌検査 クリーン作戦
	20		10				水曜/週			

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
10月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦 空調切り替え
11月	上旬 上旬 20	地域交流昼食会 秋の遠足 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 水曜 20 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 OJT研修(口腔衛生に関 する指導) 勉強会 ユニット会議 職員会議	上旬	総合防災訓練(特養) (消防来所) シェイクアウト	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦 ゴキブリ駆除
12月	上旬 20 28	お一人暮らし高齢者を 励ます会 月例祭 クリスマス誕生会 餅つき お楽しみ会	上旬 10 20 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同) 非常災害避難訓練	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
1月	1 2 3 20	元旦祭 初詣 茶話会 茶話会 茶話会 誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同) 火災避難訓練(特養)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
2月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 勉強会 ユニット会議 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 健康診断(職員) 腰痛検査(職員) 衛生委員会		安全点検 クリーン作戦
3月	20	誕生会 月例祭 お楽しみ会	上旬 10 20 20 25	リーダー会議 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会 職員会議	下旬	火災避難訓練(軽費合同)	火曜/週 水曜/週 2回/週 月末 下旬	嘱託医回診 歯科往診 血压測定 体重測定 衛生委員会		安全点検 レジオネラ菌検査 クリーン作戦

職員研修計画(令和6年)
(リベラルサンシャイン別館)

月	内容	詳細
4月	新人職員研修	オリエンテーション(法令順守・感染症予防・事故発生防止について・身体拘束)
	勉強会	認知症について
5月	OJT研修	緊急時の対応について・心肺蘇生
	勉強会	身体拘束・虐待防止について
6月	勉強会 (訓練)	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について(座学、訓練)
		プライバシーの保護の取り組みについて
7月	勉強会	褥瘡予防について
8月	OJT研修	口腔衛生に関する指導
	勉強会	BCPIについて(座学、訓練)
9月	勉強会	事故防止・事故後の対応について
10月	勉強会 (訓練)	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止について(座学、訓練)
		精神的ケアに関する研修
11月	OJT研修	口腔衛生に関する指導
	訓練	シェイクアウト・火災避難訓練(消防立合)
	勉強会	緊急時の対応について・心肺蘇生
12月	勉強会	BCPIについて(座学、訓練)
1月	勉強会	身体拘束・虐待防止について
2月	勉強会	看取りケアについて
	訓練	火災避難訓練
3月	勉強会	事故防止・事故後の対応について
	勉強会	・災害の際の緊急、感染の勉強会 ・コンプライアンス(法令遵守)・ハラスメント

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
デイサービスセンターサンシャイン

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

在宅高齢者を対象にレクリエーションや機能訓練などの活動を通じて、要介護状態になることを予防し、たとえ要介護状態にあっても生活機能が悪化しないよう心身機能の維持・向上を図ると共に社会的交流の場を提供する。また、利用者一人ひとりの個性や価値を尊重し、自己決定の権利を守り、自立した生活が送れるよう支援する。

昨年は新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、コロナ禍前と同様に受入れが可能になった。しかし、未だ新型コロナウイルスは変異を繰り返し、季節性インフルエンザや感染性胃腸炎等も流行する恐れがあるため、今後も基本的な感染症対策を講じ利用者や家族が安心して利用できる環境を整える。

運営においては、過疎化の進行、少子高齢化、人口減少による慢性的な介護人材不足を解決するため、適切な人員配置、ICTやAIの導入、ノーリフティングケアを導入し、業務の省力化・効率化を図る。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生、ボランティアの受入れ、行事の共催・参加等（随時）
- (2) 地域公益活動の実施
→クリーン作戦（月1回）、小豆島中央高校や他企業との共同クリーン作戦（随時）、地元地区道普請への参加（年1回）
→SDGs「14海の豊かさを守ろう」を目標に蒲生の浜を中心に清掃実施（月1回）
- (3) 地域との交流行事への参加
→恒例行事への参加、地域サロン活動等への参加（随時）

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→稼働率・登録率の管理、居宅介護支援事業所や他事業所との連携、介護報酬や人件費等の収支の把握（月1回）
→適切な人員配置（加算）の把握、加算計算式にて確認（月1回）
→助成金に関する情報収集、雇用形態の検討（必要時）
- (2) 計画的な設備や車両の修繕、購入
→老朽化による設備や車両の修繕、購入の計画、予算化（年1回）

【顧客の視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→アンケート調査の実施及び内容の見直し（年1回）
→送迎時、担当者会議等でのニーズ把握、相談対応（随時）
→事故再発防止に向けた検討及び取組み（月1回）、苦情対応（随時）
→定期的な利用者アセスメント、介護支援専門員との情報共有、居宅介護計画に沿った通所介護計画作成、実施。（随時）
→計画的な勉強会の開催（年7回）と研修会への参加（随時）
- (2) SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標に利用者の健康管理実施
→健康で在宅生活を継続するための健康維持（脱水予防、感染症予防、予防接種等）に関する周知
→体調の変化について速やかに家族、担当ケアマネ、担当施設職員（シーサイド等）への報告

【業務プロセスの視点】

- (1) 業務の見直し、省力化、効率化
→定期的なマニュアルの見直し、更新（年2回、必要時）

- 稼働率 80%以上の確保を目標に稼働率、収支、ニーズの分析（月 1 回）
- 業務改善ツールの使用、AI や ICT の導入、必要書類の書式統一（随時）
- (2) サービスや活動内容の定期的な発信
 - 広報誌、ホームページ、SNS の活用（担当月）
- (3) 設備や備品の維持管理
 - 車両の点検実施（月 1 回）
 - 設備点検、清掃（排煙窓、循環ろ過機（週 1 回）、機械浴槽（月 1 回）、その他設備（必要時）
- (4) 避難訓練・BCP 訓練の実施と BCP・非常災害マニュアルの見直し
 - 避難訓練の実施（火災想定（年 2 回）、地震想定（年 1 回）、土砂災害想定（年 1 回））
 - BCP 訓練の実施（自然災害（年 1 回）、感染症（年 1 回））
- (5) 感染症対策の実施
 - 感染予防の徹底、外部への周知（随時）
 - 感染症マニュアル・BCP の見直し

【学習と成長の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
 - 事業所内研修計画の作成及び実施、記録の保存（年 7 回）
 - OJT 活用による業務の効率化（随時）
 - 施設内外研修への参加促進、復命書の提出、共有（随時）
 - BCP に関する研修の実施（年 1 回）
- (2) 委員会活動への理解と参加
 - 担当委員会への参加（毎月）
 - 委員会議事録の閲覧・理解、必要行事への参加（閲覧：毎月、参加：随時）
- (3) SDGs「8 働きがいも経済成長も」を目標に職員の満足度の向上
 - キャリアパスに繋がる研修への参加、職員意識の向上（随時）
 - 常時およびケア会議等での処遇、行事に関する意見の反映（随時）
 - 希望休 90%以上、有休年間 5 日以上の取得（年間）
- (4) 事業計画の進捗、定期的な見直し
 - 4 半期に 1 回見直しを実施（6 月 9 月 12 月 3 月）、進捗管理表の活用（毎月）

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 10 名（うち非常勤職員 7 名（運転手 2 名含む））
- (2) 勤務パターン
 K 8:00～17:00 △ 8:30～12:30 ○ 11:00～14:00 H 13:00～17:00 ▲ 11:00～15:00

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 25 名
- (2) 利用日 月曜日～土曜日（年末年始 12/31～1/3 を除く）
 利用時間 8:00～17:00（サービス提供時間 9:00～16:15）
- (3) 実施地域 原則として小豆島福祉圏域（離島を除く）

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

- ・車両購入（IBOX 普通自動車、車椅子仕様軽自動車）
- ・照明の LED 化
- ・リクライニングチェア購入

デイサービスセンターサンシャイン 利用料金表

令和6年4月1日現在

		基本料金	サービス提供体制加算Ⅰ	入浴介助加算	食事料金	介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	介護職員等ベースアップ加算
要支援1	1割	1,798 円/月	88 円/月	なし	550 円/日	1ヶ月の実利用 単位数×5.9%	1ヶ月の実利用 単位数×1.2%	1ヶ月の実利用 単位数（処遇改善加算と特定処遇改善加算を除く）×1.1%
	2割	3,596 円/月	176 円/月					
	3割	5,394 円/月	264 円/月					
要支援2	1割	3,621 円/月	176 円/月					
	2割	7,242 円/月	352 円/月					
	3割	10,863 円/月	528 円/月					
要介護1	1割	658 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,316 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	1,974 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護2	1割	777 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,554 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	2,331 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護3	1割	900 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,800 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	2,700 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護4	1割	1,023 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	2,046 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	3,069 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護5	1割	1,148 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	2,296 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	3,444 円/日	66 円/日	120 円/日				

年間行事等実施計画

デイサービスセンターサンシャイン

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		防災、安全管理		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1週 2週 3週 4週	運動レク 花見 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	1 10 20 25	新任職員研修(倫理法令遵守) 経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		
5月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	カレンダー作り	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(食中毒防止) 職員会議	上旬	避難訓練(土砂災害) 車両点検(業者委託)		
6月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動会 カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	上旬 10	避難訓練(火災) 安全点検 車両点検(業者委託) レジオネラ菌水質検査		事業進捗確認、補正
7月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(身体拘束・高齢者虐待防止) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)	職員健康診断	
8月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク ミニ夏祭り 運動レク 頭脳レク	5週	カレンダー作り	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(草刈り) BCP訓練(自然災害)		
9月	1週 2週 3週 4週	運動レク 敬老会 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(ハラスメント) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		事業進捗確認、補正
10月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(BCP) 職員会議	上旬 10	香川県シェイクアウト 安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(道普請)		
11月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク 運動レク 紅葉狩り 頭脳レク	5週	カレンダー作り	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(感染症対策) 職員会議	上旬 10	避難訓練(火災) 安全点検 車両点検(業者委託)	インフルエンザ予防接種	
12月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク クリスマス会 カレンダー作り	5週	作業レク	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(年末大掃除) レジオネラ菌水質検査		事業進捗確認、補正
1月	1週 2週 3週 4週	初詣・正月遊び 初詣・正月遊び 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(身体拘束・高齢者虐待防止) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) BCP訓練(感染症)		
2月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク 運動レク・節分(豆まき) 頭脳レク 運動レク	5週	カレンダー作り	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		アンケート調査 事業計画書、予算書作成
3月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク・ひな祭り 運動レク 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(尊厳保護) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		事業報告書作成

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
デイサービスセンター北のおひさま

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

在宅高齢者を対象にレクリエーションや機能訓練などの活動を通じて、要介護状態になることを予防し、たとえ要介護状態にあっても生活機能が悪化しないよう心身機能の維持・向上を図ると共に社会的交流の場を提供する。また、利用者一人ひとりの個性や価値を尊重し、自己決定の権利を守り、自立した生活が送れるよう支援する。

昨年は新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、コロナ禍前と同様に受入れが可能になった。しかし、未だ新型コロナウイルスは変異を繰り返し、季節性インフルエンザや感染性胃腸炎等も流行する恐れがあるため、今後も基本的な感染症対策を講じ利用者や家族が安心して利用できる環境を整える。

運営においては、過疎化の進行、少子高齢化、人口減少による慢性的な介護人材不足を解決するため、適切な人員配置、ICTやAIの導入、ノーリフティングケアを導入し、業務の省力化・効率化を図る。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生、ボランティアの受入れ、行事の共催・参加等（随時）
- (2) 地域公益活動の実施
→クリーン作戦（月1回）施設周辺の県道
→SDGs「14海の豊かさを守ろう」を目標に蒲生の浜を中心に清掃実施（月1回）
- (3) 地域との交流行事への参加
→恒例行事への参加、地域サロン活動等への参加（随時）
→地域活動、行事（作品展出展）

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→稼働率・登録率の管理、居宅介護支援事業所や他事業所との連携、介護報酬や人件費等の収支の把握（月1回）
→適切な人員配置（加算）の把握、加算計算式にて確認（月1回）
→助成金に関する情報収集、雇用形態の検討（必要時）
- (2) 計画的な設備や車両の修繕、購入
→老朽化による設備や車両の修繕、購入の計画、予算化（年1回）

【顧客の視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→アンケート調査の実施及び内容の見直し（年1回）
→送迎時、担当者会議等でのニーズ把握、相談対応（随時）
→事故再発防止に向けた検討及び取り組み（月1回）、苦情対応（随時）
→定期的な利用者アセスメント、介護支援専門員との情報共有、居宅介護計画に沿った通所介護計画の作成、実施（随時）
→計画的な勉強会の開催（年7回）と研修会への参加（随時）
- (2) SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標に利用者の健康管理実施
→健康で在宅生活を継続するための健康維持（脱水予防、感染症予防、予防接種等）に関する周知
→体調の変化について速やかに家族、担当ケアマネ、施設職員への報告

【業務プロセスの視点】

- (1) 業務の見直し、省力化、効率化
→定期的なマニュアルの見直し、更新（年2回、必要時）

- 稼働率 80%以上の確保を目標に稼働率、収支、ニーズの分析（月 1 回）
- 業務改善ツールの使用、AI や ICT の導入、必要書類の書式統一（随時）
- (2) サービスや活動内容の定期的な発信
 - 広報誌、ホームページ、SNS の活用（担当月）
- (3) 設備や備品の維持管理
 - 車両の点検実施（月 1 回）
 - 設備点検、清掃（排煙窓、機械浴槽（月 1 回）、その他設備（必要時））
- (4) 避難訓練・BCP 訓練の実施と BCP・非常災害マニュアルの見直し
 - 避難訓練の実施（火災想定（年 2 回）、地震想定（年 1 回）、土砂災害想定（年 1 回））
 - BCP 訓練の実施（自然災害（年 1 回）、感染症（年 1 回））
- (5) 感染症対策の実施
 - 感染予防の徹底、外部への周知（随時）
 - 感染症マニュアル・BCP の見直し

【学習と成長の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
 - 事業所内研修計画の作成及び実施、記録の保存（年 7 回）
 - OJT 活用による業務の効率化（随時）
 - 施設内外研修への参加促進、復命書の提出、共有（随時）
 - BCP に関する研修の実施（年 1 回）
- (2) 委員会活動への理解と参加
 - 担当委員会への参加（毎月）
 - 委員会議事録の閲覧・理解、必要行事への参加（閲覧：毎月、参加：随時）
- (3) SDGs「8 働きがいも経済成長も」を目標に職員の満足度の向上
 - キャリアパスに繋がる研修への参加、職員意識の向上（随時）
 - 常時およびケア会議等での処遇、行事に関する意見の反映（随時）
 - 希望休 90%以上、有休年間 5 日以上の取得（年間）
- (4) 事業計画の進捗、定期的な見直し
 - 4 半期に 1 回見直しを実施（6 月 9 月 12 月 3 月）、進捗管理表の活用（毎月）

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 6 名（うち非常勤職員 4 名（配膳・営繕職員 1 名含む））
- (2) 勤務パターン
 K 8:00～17:00 △ 8:30～12:30 ○ 11:00～14:00 H 13:00～17:00 ▲ 11:00～15:00

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 20 名
- (2) 利用日 月曜日～土曜日（年末年始 12/31～1/3 を除く）
 利用時間 8:00～17:00（サービス提供時間 9:00～16:15）
- (3) 実施地域 原則として小豆島福祉圏域（離島を除く）

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

・特になし

デイサービスセンター北のおひさま 利用料金表

令和6年4月1日現在

		基本料金	サービス提供体制加算Ⅰ	入浴介助加算	食事料金	介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	介護職員等ベースアップ加算
要支援1	1割	1,798 円/月	88 円/月	なし	550 円/日	1ヶ月の実利用 単位数×5.9%	1ヶ月の実利用 単位数×1.2%	1ヶ月の実利用 単位数（処遇改善加算と特定処遇改善加算を除く）×1.1%
	2割	3,596 円/月	176 円/月					
	3割	5,394 円/月	264 円/月					
要支援2	1割	3,621 円/月	176 円/月					
	2割	7,242 円/月	352 円/月					
	3割	10,863 円/月	528 円/月					
要介護1	1割	658 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,316 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	1,974 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護2	1割	777 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,554 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	2,331 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護3	1割	900 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,800 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	2,700 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護4	1割	1,023 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	2,046 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	3,069 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護5	1割	1,148 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	2,296 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	3,444 円/日	66 円/日	120 円/日				

年間行事等実施計画

デイサービスセンター北のおひさま

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等			防災、安全管理		健康管理・衛生管理		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
4月	1週 2週 3週 4週	運動レク 花見 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	1 10 20 25	新任職員研修(倫理法令遵守) 経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)			
5月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	カレンダー作り	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(食中毒防止) 職員会議	上旬	避難訓練(土砂災害) 車両点検(業者委託)			
6月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動会 カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	上旬 10	避難訓練(火災) 安全点検 車両点検(業者委託) レジオネラ菌水質検査			事業進捗確認、補正
7月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(身体拘束・高齢者虐待防止) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		職員健康診断	
8月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク ミニ夏祭り 運動レク 頭脳レク	5週	カレンダー作り	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) BCP訓練(自然災害)			
9月	1週 2週 3週 4週	運動レク 敬老会 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(ハラスメント) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)			事業進捗確認、補正
10月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(BCP) 職員会議	上旬 10	香川県シェイクアウト 安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(道普請)			
11月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク 運動レク 紅葉狩り 頭脳レク	5週	カレンダー作り	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(感染症対策) 職員会議	上旬 10	避難訓練(火災) 安全点検 車両点検(業者委託)		インフルエンザ予防接種	
12月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク クリスマス会 カレンダー作り	5週	作業レク	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(年末大掃除)			事業進捗確認、補正
1月	1週 2週 3週 4週	初詣・正月遊び 初詣・正月遊び 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(身体拘束・高齢者虐待防止) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)			
2月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク 運動レク・節分(豆まき) 頭脳レク 運動レク	5週	カレンダー作り	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) BCP訓練(感染症)			アンケート調査 事業計画書、予算書作成
3月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク・ひな祭り 運動レク 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(尊厳保護) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)			事業報告書作成

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
デイサービスセンターサンライズ西村

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

在宅高齢者を対象にレクリエーションや機能訓練などの活動を通じて、要介護状態になることを予防し、たとえ要介護状態にあっても生活機能が悪化しないよう心身機能の維持・向上を図ると共に社会的交流の場を提供する。また、利用者一人ひとりの個性や価値を尊重し、自己決定の権利を守り、自立した生活が送れるよう支援する。

昨年は新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、コロナ禍前と同様に受入れが可能になった。しかし、未だ新型コロナウイルスは変異を繰り返し、季節性インフルエンザや感染性胃腸炎等も流行する恐れがあるため、今後も基本的な感染症対策を講じ利用者や家族が安心して利用できる環境を整える。

運営においては、過疎化の進行、少子高齢化、人口減少による慢性的な介護人材不足を解決するため、適切な人員配置、ICTやAIの導入、ノーリフティングケアを導入し、業務の省力化・効率化を図る。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 社会福祉法人として利用者、職員、設備、機能の地域化
→実習生、ボランティアの受入れ、行事の共催・参加等（随時）
- (2) 地域公益活動の実施
→クリーン作戦（月1回）施設周辺の県道
→SDGs「14海の豊かさを守ろう」を目標に蒲生の浜を中心に清掃実施（月1回）
- (3) 地域との交流行事への参加
→恒例行事への参加、地域サロン活動等への参加（随時）
→地域活動、行事（作品展出展）

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→稼働率・登録率の管理、居宅介護支援事業所や他事業所との連携、介護報酬や人件費等の収支の把握（月1回）
→適切な人員配置（加算）の把握、加算計算式にて確認（月1回）
→助成金に関する情報収集、雇用形態の検討（必要時）
- (2) 計画的な設備や車両の修繕、購入
→老朽化による設備や車両の修繕、購入の計画、予算化（年1回）

【顧客の視点】

- (1) サービス内容の検討、職員の資質向上、利用者・家族の満足度向上
→アンケート調査の実施及び内容の見直し（年1回）
→送迎時、担当者会議等でのニーズ把握、相談対応（随時）
→事故再発防止に向けた検討及び取り組み（月1回）、苦情対応（随時）
→定期的な利用者アセスメント、介護支援専門員との情報共有、居宅介護計画に沿った通所介護計画の作成、実施（随時）
→計画的な勉強会の開催（年7回）と研修会への参加（随時）
- (2) SDGs「3すべての人に健康と福祉を」を目標に利用者の健康管理実施
→健康で在宅生活を継続するための健康維持（脱水予防、感染症予防、予防接種等）に関する周知
→体調の変化について速やかに家族、担当ケアマネ、施設職員への報告

【業務プロセスの視点】

- (1) 業務の見直し、省力化、効率化
→定期的なマニュアルの見直し、更新（年2回、必要時）

- 稼働率 80%以上の確保を目標に稼働率、収支、ニーズの分析（月 1 回）
- 業務改善ツールの使用、AI や ICT の導入、必要書類の書式統一（随時）
- (2) サービスや活動内容の定期的な発信
 - 広報誌、ホームページ、SNS の活用（担当月）
- (3) 設備や備品の維持管理
 - 車両の点検実施（月 1 回）
 - 設備点検、清掃（排煙窓、機械浴槽（月 1 回）、その他設備（必要時））
- (4) 避難訓練・BCP 訓練の実施と BCP・非常災害マニュアルの見直し
 - 避難訓練の実施（火災想定（年 2 回）、地震想定（年 1 回）、土砂災害想定（年 1 回））
 - BCP 訓練の実施（自然災害（年 1 回）、感染症（年 1 回））
- (5) 感染症対策の実施
 - 感染予防の徹底、外部への周知（随時）
 - 感染症マニュアル・BCP の見直し

【学習と成長の視点】

- (1) 研修内容、実施方法の検討
 - 事業所内研修計画の作成及び実施、記録の保存（年 7 回）
 - OJT 活用による業務の効率化（随時）
 - 施設内外研修への参加促進、復命書の提出、共有（随時）
 - BCP に関する研修の実施（年 1 回）
- (2) 委員会活動への理解と参加
 - 担当委員会への参加（毎月）
 - 委員会議事録の回覧・理解、必要行事への参加（閲覧：毎月、参加：随時）
- (3) SDGs「8 働きがいも経済成長も」を目標に職員の満足度の向上
 - キャリアパスに繋がる研修への参加、職員意識の向上（随時）
 - 常時およびケア会議等での処遇、行事に関する意見の反映（随時）
 - 希望休 90%以上、有休年間 5 日以上の取得（年間）
- (4) 事業計画の進捗、定期的な見直し
 - 4 半期に 1 回見直しを実施（6 月 9 月 12 月 3 月）、進捗管理表の活用（毎月）

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 6 名（うち非常勤職員 4 名（配膳・営繕職員 1 名含む））
- (2) 勤務パターン
 K 8:00～17:00 △ 8:30～12:30 ○ 11:00～14:00 H 13:00～17:00 ▲ 11:00～15:00

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 20 名
- (2) 利用日 月曜日～土曜日（年末年始 12/31～1/3 を除く）
 利用時間 8:00～17:00（サービス提供時間 9:00～16:15）
- (3) 実施地域 原則として小豆島福祉圏域（離島を除く）

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

- ・車両購入（車椅子仕様軽自動車）

デイサービスセンターサンライズ西村 利用料金表

令和6年4月1日現在

		基本料金	サービス提供体制加算Ⅰ	入浴介助加算	食事料金	介護職員処遇改善加算Ⅰ	介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ	介護職員等ベースアップ加算
要支援1	1割	1,798 円/月	88 円/月	なし	550 円/日	1ヶ月の実利用 単位数×5.9%	1ヶ月の実利用 単位数×1.2%	1ヶ月の実利用 単位数（処遇改善加算と特定処遇改善加算を除く）×1.1%
	2割	3,596 円/月	176 円/月					
	3割	5,394 円/月	264 円/月					
要支援2	1割	3,621 円/月	176 円/月					
	2割	7,242 円/月	352 円/月					
	3割	10,863 円/月	528 円/月					
要介護1	1割	658 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,316 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	1,974 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護2	1割	777 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,554 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	2,331 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護3	1割	900 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	1,800 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	2,700 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護4	1割	1,023 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	2,046 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	3,069 円/日	66 円/日	120 円/日				
要介護5	1割	1,148 円/日	22 円/日	40 円/日				
	2割	2,296 円/日	44 円/日	80 円/日				
	3割	3,444 円/日	66 円/日	120 円/日				

年間行事等実施計画

デイサービスセンターサンライズ西村

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		防災、安全管理		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月	1週 2週 3週 4週	運動レク 花見 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	1 10 20 25	新任職員研修(倫理法令遵守) 経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		浄化槽法定検査 害虫駆除(晴天) 浄化槽抜取清掃		
5月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	カレンダー作り	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(食中毒防止) 職員会議	上旬	避難訓練(土砂災害) 車両点検(業者委託)		浄化槽保守点検		
6月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動会 カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	上旬 10	避難訓練(火災) 安全点検 車両点検(業者委託) レジオネラ菌水質検査		浄化槽保守点検		事業進捗確認、補正
7月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(身体拘束・高齢者虐待防止) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		職員健康診断 浄化槽保守点検		
8月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク ミニ夏祭り 運動レク 頭脳レク	5週	カレンダー作り	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) BCP訓練(自然災害)		浄化槽保守点検		
9月	1週 2週 3週 4週	運動レク 敬老会 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(ハラスメント) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		浄化槽保守点検		事業進捗確認、補正
10月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(BCP) 職員会議	上旬 10	香川県シェイクアウト 安全点検 車両点検(業者委託)		浄化槽保守点検		
11月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク 運動レク 紅葉狩り 頭脳レク	5週	カレンダー作り	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(感染症対策) 職員会議	上旬 10	避難訓練(火災) 安全点検 車両点検(業者委託)		インフルエンザ予防接種 浄化槽保守点検		
12月	1週 2週 3週 4週	運動レク 頭脳レク クリスマス会 カレンダー作り	5週	作業レク	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(年末大掃除)		浄化槽保守点検		事業進捗確認、補正
1月	1週 2週 3週 4週	初詣・正月遊び 初詣・正月遊び 運動レク カレンダー作り	5週	頭脳レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(身体拘束・高齢者虐待防止) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		浄化槽保守点検		
2月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク 運動レク・節分(豆まき) 頭脳レク 運動レク	5週	カレンダー作り	10 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託) BCP訓練(感染症)		浄化槽保守点検		アンケート調査 事業計画書、予算書作成
3月	1週 2週 3週 4週	頭脳レク・ひな祭り 運動レク 頭脳レク カレンダー作り	5週	運動レク	10 20 20 25	経営会議、課長主任会議 ケア会議 事業所内研修(尊厳保護) 職員会議	10	安全点検 車両点検(業者委託)		浄化槽保守点検		事業報告書作成

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
グループホーム 北のおひさま

1. 概要・目的（運営・サービス・ケア等の方針）

認知症によって自立した生活が困難になった方においても慣れ親しんだ環境のもとで家族や顔馴染みの人たちとの関わり、地域社会との関係性を継続しながら、個人が人として尊厳をもってその人らしい安心のある生活が送れるよう支援していく。

ご利用者の半数が90歳を超えており、グループホームにおいても高齢化が進んでいる。身体状況を把握し、異常の早期発見・早期治療に努め重度化防止に努めて行く。

新型コロナウイルス感染症においては令和5年5月8日をもって感染症法に元づく分類が2類から5類へと移行したが、未だ感染症は終息していない現状である。定期的な実践研修も含め、感染症予防に努める。また、毎年のように発生している大規模地震や水害等の自然災害に対し、必要な食料品や日常用品、衛生用品等を整備するとともに定期的な物品管理、BCPに基づいた訓練等の対策を講じていく。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（手法）

【地域公益の視点】

- 地域社会との交流 SDGs（3）すべての人に健康と福祉を
 - 地区道普請への参加や太鼓訪問等を通じての地域との交流の実施（通年）
 - 地域のこども園と世代間交流の実施（年2回）
 - 地域や学生などボランティア活動の拠点として多方面からの受け入れを行う（随時）
 - 地区文化展への作品出展（年1回）
- 地域における公益的な取り組み SDGs（14）海の豊かさを守ろう
 - サロン活動への参加（随時）
 - クリーン作戦への参加（随時）
 - 小豆島中央高校や他企業と共同してのクリーン作戦の実施（年1回）

【財務の視点】

- 稼働率の維持・向上
 - 家族・関係機関との連携を図り、退所による空きベッドが出た場合、速やかに対応できるよう、入待機者の確保・把握に努める（通年）
 - 入退院時には家族・医療機関との連携、情報を適宜共有し、スムーズな入退院を図る（随時）
- 消耗品などの見直し
 - 職員一人ひとりがコスト意識をもち、節電・節水を心掛けると共に、消耗品の見直しを行いコスト削減に努める（随時）
- 事業所の設備の見直し・検討
 - 老朽化・劣化により修繕が必要な設備については計画的に修繕を検討する（随時）
 - 機械設備の点検等を定期的に行うことにより異常を早く見つけ、故障を少なくし耐用年数を少しでも延ばす（毎月）

【顧客の視点】

- 入居者・家族のニーズ把握
 - 家族へのアンケート調査（年1回）
 - 家族会、訪問の機会に、本人及び家族に意向を確認する（随時）
 - 毎月発行の施設内広報誌、SNSを活用し、日々の活動を発信する（毎月）
- 個別ケアの充実 SDGs（3）すべての人に健康と福祉を
 - 「できること」「やりたいこと」に着眼した情報収集、アセスメントの実践（6ヶ月毎）
 - 本人、家族の意向の把握、アセスメントに基づいた介護計画の作成（6ヶ月毎）
 - 利用者個々の趣味・余暇活動の充実を図る（通年）

【業務プロセスの視点】

- (1) マニュアルの見直し SDGs (8) 働きがいも経済成長も
→業務マニュアルの見直しを行い、業務の統一化・業務内容の効率化を図る(随時)
- (2) リスクマネジメントの実践
→未然に事故を回避するために、常に廊下や居室等の環境を整備する。(通年)
→事故防止委員会を開催し、リスク予測・分析を行い職員間で共有し、事故予防に努める。
(通年)
→協力医療機関との連携により健康維持と異常の早期発見に努め、重度化予防に努める(通年)
- (3) 感染症予防
→基本的な感染症対策を継続し健康管理の実施。必要な情報の収集・研修へ参加し、感染症予防に努める(通年)
- (4) 非常災害への備え
→避難訓練(毎月)、総合防災訓練(年1回)、シェイクアウト訓練(年1回)の実施
→非常災害・感染症BCPに基づく訓練(年2回)
→非常備蓄品の管理(通年)
→設備安全点検の実施(毎月)
- (5) 働きやすい環境作り SDGs (8) 働きがいも経済成長も
→腰痛予防対策として就業前の腰痛予防体操の取り組み(毎回)
→整理整頓を行い、安全な職場環境を作る(随時)

【学習の視点】

- (1) 認知症支援者としての理解と実践
→定期的な勉強会や会議を行い認知症ケアへの理解を深めると共に資質向上に努める(年3回)
→外部研修への参加(随時)
- (2) 介護力の向上、モチベーションの維持向上
→内部研修や部署内のOJTにより意識、知識、技術を習得する。

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 14名(うち非常勤職員 8名)
- (2) 勤務パターン
A 7:00~16:00 △ 8:00~12:00 B 8:30~17:30
○ 9:00~16:00 C 9:00~18:00 T 12:30~21:30 ◎ 21:30~ 翌7:00

4. 定員(利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

- (1) 定員 18名(2ユニット)
- (2) 利用日、利用時間 24時間365日

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

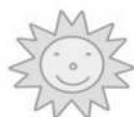
別紙、年間計画書に記載

7. その他(上記に記載されていない内容)

- ・リビングエアコン
- ・居室エアコン2台
- ・備蓄用倉庫
- ・非常食の入替



グループホーム北のおひさま料金表

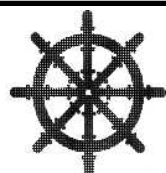


令和6年4月～

①介護保険自己負担金			②利用料金		
	日額	月額		日額	月額
要支援2	749円	22,470円	居住費	1,500円	45,000円
要介護1	753円	22,590円	食材費	1,445円	43,350円
要介護2	788円	23,640円	光熱費	200円	6,000円
要介護3	812円	24,360円	共益費	167円	5,000円
要介護4	828円	24,840円	計	99,350円	
要介護5	845円	25,350円			
③加算					自己負担(1日)
サービス提供体制強化加算(Ⅰ)					22円
サービス提供体制強化加算(Ⅱ)					18円
サービス提供体制強化加算(Ⅲ)					6円
認知症専門ケア加算(Ⅰ)					3円
初期加算(入所後30日間) ※1ヶ月以上入院後、再度入所した場合加算あり					30円
退居時相談援助加算(1回のみ)					400円
退居時情報提供加算(1回のみ)					250円
若年性認知症受入加算(該当者のみ)					120円
入院時費用(1ヶ月6日間、最大で12日間)					246円
介護職員処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×11.1%(月により変動))					
介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ(月の実総単位数×3.1%(月により変動))					
介護職員等特定処遇改善加算Ⅱ(月の実総単位数×2.3%(月により変動))					
介護職員等ベースアップ等支援加算(月の実総単位数×2.3%(月により変動))					
※その他(おむつ代・理美容代・日常雑貨・消耗品等)は実費といたします。					
①+②+③+その他=1ヶ月の総額					

※ 上記、介護保険自己負担金及び食費は、1ヶ月30日計算をしていますので、多少金額が変わります。

※ サービス提供体制強化加算(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ・Ⅱ)どちらかになります。



SUNSHINE

令和6年度 職員研修計画

(グループホーム)

月	内容	テーマ
4月	新人職員研修	オリエンテーション(法令順守・感染症予防・事故防止について・身体拘束)
	勉強会	認知症について・事例検討
5月	勉強会	BCPについて(座学・訓練)
6月	勉強会	身体拘束・虐待防止について
7月	勉強会	事故防止について
8月	勉強会	認知症について・事例検討
9月	勉強会	身体拘束・虐待防止について
10月	勉強会	BCPについて(座学・訓練)
11月	勉強会	感染症予防について
12月	勉強会	接遇について
		ハラスメントについて
1月	勉強会	緊急時の対応について
		感染症予防について
2月	勉強会	認知症について・事例検討
3月	勉強会	事故防止について

令和6年度年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1	おもてなしカフェ 家族会		お花見・お菓子作り		新人研修(オリエンテーション) 経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(認知症について) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ
5月	1	おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		遠足		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(BCPについて) 職員会議 身体拘束適正化検討委員会 虐待防止委員会	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ
6月	1	おもてなしカフェ 家族会		新緑巡り		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 勉強会(身体拘束・虐待防止について) 職員会議 感染症防止委員会	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会 職員健康診断		オレンジかふえ なかよしカフェ
7月	1	おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		七夕		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(事故防止について) 身体拘束適正化研修会 虐待防止委員会 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ
8月	1	おもてなしカフェ 家族会		本部夏祭り		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(認知症について) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週	みなと診療所往診		オレンジかふえ なかよしカフェ 土庄町元気アップ教室 日/週
9月	1	おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		遠足		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(身体拘束・虐待防止について) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ 土庄町元気アップ教室 日/週
10月	1	おもてなしカフェ 家族会		秋祭り		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(BCPについて) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ 北浦こども園交流 土庄町元気アップ教室 日/週

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
11月	1	おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		紅葉狩り		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(感染症予防について) 職員会議 身体拘束適正化検討委員会 虐待防止委員会 感染症防止委員会		消防署員派遣避難訓練 避難訓練(地震)	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会 インフルエンザ予防接種	日/週	オレンジかふえ なかよしカフェ 土庄町元気アップ教室
12月	1	おもてなしカフェ 家族会		クリスマス会		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(接遇・ハラスメントについて) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ 北浦こども園交流
1月	1	おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		初詣 新年会		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(緊急時対応・感染症予防について) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ
2月	1	おもてなしカフェ 家族会		豆まき		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(認知症について) 身体拘束適正化検討委員会 虐待防止委員会 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会 職員健康診断		オレンジかふえ なかよしカフェ
3月	1	おもてなしカフェ 家族会 運営推進会議		ひな祭り		経営会議・課長主任会議 ユニット会議 事故防止 勉強会(事故防止について) 職員会議	2	安全点検日 避難訓練	金/週 下旬	みなと診療所往診 衛生委員会		オレンジかふえ なかよしカフェ

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
居宅介護支援事業所サンシャイン

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

利用者の課題を抽出し、その課題と利用者の要望、家族の意向を尊重した上で適切なサービスを提案する。サービス事業者および職種間での連携をつかさどり、課題に対応したサービス提供へ繋げる。地域に足を運び、地域での支え合い協力できる体制と一緒に考える役割も必要である。虐待問題も身近なところで起きている可能性が高く、利用者だけでなく家族等に対する支援も含めて広い視野で考え、寄り添い支え合う支援を行っていく。地域包括ケアシステムに向け、各事業所や医療機関、住民との関係性を構築し、住み慣れた在宅で生活を継続できるよう総合的な援助を担う。

また、軽費老人ホーム入所者の重度化に対して各事業所等と連携が必要不可欠である。法人の「総合的相談窓口」として中立な立場で各サービス機関に繋げる役割として取り組む。

さらに、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標のうち(3)すべての人に健康と福祉を(8)働きがいも経済成長も(14)海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（新年の目標）（手法）

【地域公益の視点】

(1) 利用者の状況に応じたサービス提供の検討

→軽費重度化等の緊急時の対応での方向性や各事業所等との連携と役割分担

→複雑化した多問題等に対して多職種との連携、相談窓口としての機能役割、施設内での事例検討（随時）

→安全に在宅生活継続する為に感染症対策について情報提供し、各在宅サービス事業所との連携を図る

(2) 地域ニーズの把握

→地域アセスメント（地域に足を運ぶ、各民生委員の把握、行政や地区民生委員等と情報共有、社会資源の情報収集、家族や地域の方との信頼関係の構築、地域行事等の参加）を行い、住み慣れた地域で生活が続けられる様に在宅支援を行う（随時）

→各サービス機関等との情報共有

(3) クリーン作戦の参加（14）海の豊かさを守ろう

→毎月実施するクリーン作戦に参加をする、合間で浜辺のゴミ拾い、花壇の手入れ等

【財務の視点】

(1) 事業所単位での収支管理

→稼働率と介護報酬の管理（月1回）、各サービス事業所の介護報酬の分析、加算の見直し、担当件数の調整（随時）

→専任1名体制と兼務者負担軽減、軽費利用者の優先検討、新規利用者の対応

【顧客の視点】

(1) 苦情解決の仕組み強化

→苦情内容についての情報共有（随時）、苦情処理体制の見直し、統一化の検討（随時）

(2) 高齢者虐待の対応への取り組み（3）すべての人に健康と福祉を

→高齢者虐待防止法について正しい知識、研修会等の参加

→虐待の疑いから関係機関への早目の相談

→事業所内で定期的に事例検討会

サービス内容等の適切性、利用者ニーズに応じたサービス提供

→利用者・家族のアセスメント実施、利用者・家族との信頼関係づくり、事例検討（随時）

専門的知識向上と情報提供、地域の社会資源の活用、地域の協力者との連携

(3) 接遇力向上につながる取り組みの検討

→施設内外等の研修への参加（随時）

【業務プロセスの視点】

- (1) 規定内容の確認とマニュアル内容の見直し
→定期的規定内容の確認（年2回）とマニュアル内容等の見直し（年1回）
- (2) 業務の省力化・業務改善の検討（8）働きがいも経済成長も
→相談業務・書類記録の仕方等の適切な実施 必要書類等の定期的確認（随時）、困難事例に対するサービス調整、各サービス機関との連携、計画的業務見直し
→専門職として気づきを持ちケアマネ同士情報共有し、事業所全体で迅速かつ適切な対応に努める
→ケアマネ・管理者・委員会業務内容等の見直し、役割分担の検討
→できることからの業務改善ツールの使用、AI や ICT の導入
→ケアプランデータ連携システムの導入の検討、作業時間やコスト削減
- (3) 利用者定員の見直し
→専従1名・兼務体制による担当件数の見直し
→軽費重度化に対する、優先的な対応
（軽費含めた法人内での各サービス機関との連携、方向性の統一）

【学習と成長の視点】

- (1) 研修実施内容の検討
→介護・医療等の専門機関の研修や地域ケア会議等に参加、施設内研修への参加
→ACPについて理解促進に努め、個々の意思決定支援に取り組む
→ノーリフティングケアへの取り組み
- (2) 事業計画等の定期的見直し
→4半期に1回の見直しを実施（PDCA様式作成）
- (3) 目標設定・人材育成についての実施
→将来的に管理者の要件（主任介護支援専門員資格取得）を満たせる人材・業務体制作り
軽費重度化に対する迅速な対応
→ケアマネ取得に向けての支援
- (4) 困難事例等に対する取り組み
→地域ケア会議での事例検討会に参加
→個別に相談を受け必要に応じての介入
→医療・福祉機関等に積極的に相談を行う

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 3名（兼務 3名）
- (2) 勤務パターン
K 8:00～17:00 B 8:30～17:30

4. 定員

- (1) 定員（担当件数）
専従（管理者含）：一人あたり44件まで
兼務：状況に合わせて件数を調整
- (2) 利用日、利用時間
8:30～17:30（土日祝および1月1日～3日を除く）
- (3) 実施地域
小豆郡内（豊島地区を除く）

5. 利用料金一覧

利用者負担なし

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他

なし

年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月					初旬	勉強会(居宅介護支援業務)						
					10	経営会議・課長主任会議			下旬	衛生委員会		
					25	職員会議						
5月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		
6月					10	経営会議・課長主任会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修		BCP訓練		職員健康診断		事業計画見直し
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		
7月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		
8月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議						
9月					10	経営会議・課長主任会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修		BCP研修				事業計画見直し
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		規定・マニュアル見直し 兼務等業務内容見直し
10月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議		香川県シェイクアウト				
									下旬	衛生委員会		
11月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議		BCP訓練		インフルエンザ予防接種		
									下旬	衛生委員会		
12月					10	経営会議・課長主任会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修						事業計画見直し
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		
1月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議・勉強会			下旬	衛生委員会		
2月					10	経営会議・課長主任会議						
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		
3月					10	経営会議・課長主任会議						
					中旬	小豆島町介護支援専門員研修						事業計画見直し
					25	職員会議			下旬	衛生委員会		規定・マニュアル見直し 兼務等業務内容見直し

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
訪問介護事業所サンシャイン

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）※高齢、障がいの内容を記載

介護：他居宅介護支援事業所からの在宅依頼の増減の変化はないが、ニーズに沿ったサービス提供時間を調整することで在宅生活が可能となり、他事業所へのサービスに繋がると共に、在宅生活が継続できている。同法人の軽費老人ホームの入所者は年々自立度の低下や介護度の重度化により全体の8割が介護認定を受けており需要はある。特養若しくは、他施設入所までのつなぎとして今後も大きな役割があるものの、環境面や設備に限界があり長期サービス利用に繋ぐことができていない。身体状況と生活機能を把握し、軽費、ケアマネジャーとの情報共有と密な連携が必要である。昨年は新型コロナウイルスが5類に移行となったが、感染症により他事業所が利用中止となることがある為、感染予防の徹底を行い訪問サービス提供は必要不可欠である。利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を送れるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活にわたる援助を行う。また、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等との連携と情報の共有を図り、プランに基づいたサービス提供に努める。

障害：利用者の年齢が若い為長期利用となっている。訪問看護とサービス提供のため今後も情報共有に努める。個々の身体状況に応じて、相談支援事業所との連携と情報の共有を図り、プランに基づいたサービスの提供を行う。

持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（新年の目標）（手法）

【地域公益の視点】

- (1) 利用者の状況に応じたサービス提供の検討
→アンケート調査の実施（年1回）、関係機関との連携、家族に対するサポート強化
- (2) 公益的な活動の取り組み
→SDGs 14「海の豊かさを守ろう」 クリーン作戦への参加、事業所周辺、道路のゴミ拾い

【財務の視点】

- (1) 事業所単位での収支管理
→稼働率の管理、介護報酬や人件費等の収支の把握（月1回）と業務内容に応じた雇用形態の検討（年2回）

【顧客の視点】

- (1) 自立支援に向けたサービス提供
→適材適所の支援・援助を行う事で利用者の満足度を上げ、訪問介護員も自信を持てるようにする
→IADL、ADL、QOLの向上を目的とした自立度を高めるケア
- (2) 苦情解決の取り組み強化
→苦情内容について情報の共有（随時）、苦情処理体制の見直し、統一化の検討（随時）
- (3) 事故の分析を実施
→事故内容の情報共有と半期毎に集計と分析の実施（年2回）
- (4) 接遇力向上につながる取り組みの検討
→施設内外等の研修参加（随時）、信頼される接遇マナーを身につける
→意識向上とサービスマナー「共感性を持ったきめ細やかな心配りで、満足感を作り出すパワー」を身につける
- (5) SDGs3「すべての人に健康と福祉を」
→体調変化、相談援助、必要に応じてケアマネへ報告
→感染症拡大防止を図るため、利用者の感染対策に努める
→研修・ミーティング等で個々に意見交換の場を持つ

【業務プロセスの視点】

- (1) 規定内容の確認とマニュアル内容の見直し
→定期的な規定内容の確認（年2回）、マニュアル内容の見直し（年2回）

- (2) 業務の省力化・業務改善の検討
 - 必要書類の定期的な確認と見直し
 - 残存能力を活用し主体的に生活出来るケア
 - ICT活用により、軽費との情報共有と連携
 - ノーリフティングケアにより介護の質の向上と利用者と職員双方に優しいケア
- (3) 利用者定員の見直し
 - サービス提供責任者 2人体制、登録ヘルパーの業務時間の見直しと人材確保

【学習の視点】

- (1) 研修実施内容の検討
 - 年間研修計画の作成、施設内外の研修参加、個別モニタリング（毎月）、情報共有のミーティング実施（随時）
- (2) 事業計画の定期的見直し
 - 4半期に1回の見直しを実施（PDCA様式作成）

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 7名（常勤専従 1名 常勤兼務 1名 非常勤 5名）
 - ※サービス実施状況に応じ随時補充
- (2) 勤務パターン
 - L 7:30～16:30 K 8:00～17:00 J 8:15～17:15 B 8:30～17:30
 - 非常勤・登録 ケアプランに基づくサービス時間毎

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 なし
- (2) 利用日、利用時間 月曜日から日曜日（元旦を除く）
- (3) 実施地域 小豆郡内（豊島地区を除く）

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

なし

訪問介護利用料金

令和6年4月1日現在

身体介護が中心の場合		
身体介護 1	20分以上30分未満	244 円
身体介護 2	30分以上1時間未満	387 円
身体介護 3	1時間以上1時間30分未満	567 円
30分増すごとに		82円増し

身体介護に引き続き生活援助が中心の場合			
身体+生活	生活1	生活2	生活3
身体1	309円	374円	439円
身体2	452円	517円	582円
身体3	632円	697円	762円

生活援助が中心の場合		
生活援助2	20分以上45分未満	179 円
生活援助3	45分以上	220 円

介護予防		
介護予防訪問介護(Ⅰ)	1ヶ月	1,176 円
介護予防訪問介護(Ⅱ)	1ヶ月	2,349 円
介護予防訪問介護(Ⅲ)	1ヶ月	3,727 円

加 算	
初回加算	200 円
緊急時訪問介護加算	100 円
生活機能向上連携加算	100 円
特別地域加算(離島等)	(サービス費)×15%
介護職員処遇改善加算Ⅰ	(サービス費+加算)×13.7%
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)	(サービス費)×(4.2%)
ベースアップ等支援加算	(サービス費)×(2.4%)

障害福祉(居宅介護) 料金表 (障害福祉サービス)

令和 6年 4月 1日現在

※障害福祉サービスにおいて「居宅介護」の認定を受けた方が対象

利用時間	身体介護 通院等介助	利用時間	家事援助	利用時間	重度訪問介護
～30分未満	2,560円	～30分未満	1,060円	～1時間未満	1,860円
～1時間未満	4,040円	～45分未満	1,530円	～1時間30分未満	2,770円
～1時間30分未満	5,870円	～1時間未満	1,970円	～2時間未満	3,690円
～2時間未満	6,690円	～1時間15分未満	2,390円	～2時間30分未満	4,610円
～2時間30分未満	7,540円	～1時間30分未満	2,750円	～3時間未満	5,530円
～3時間未満	8,370円	～1時間30分以上	3,110円に 15分増す毎に 350円を加算	～3時間30分未満	6,440円
～3時間以上	9,210円に 30分増す毎に 830円を加算			～4時間未満	7,360円
				～8時間未満	8,210円に 30分増す毎に 850円を加算

○初回加算：2,000円/月

○利用者負担上限額管理加算：1,500円/月

○緊急時対応加算：1,000円

○特別地域加算：実利用単価数×15%

○福祉・介護職員処遇改善加算：実利用27.4%(居宅介護) 20.2%(重度訪問介護)

○福祉・介護職員処遇改善加算(Ⅱ):単位数×5.5%(居宅介護) 単位数×5.5%(重度訪問介護)

○ベースアップ等支援加算:単位数×4.5%

○上限負担額がある場合受給者証に記載している額

年間行事等実施計画

項目 月	行		事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月					25	ヘルパー会議・勉強会 プライバシー保護について	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
5月					27	ヘルパー会議・勉強会 接遇・倫理及び法令遵守	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
6月					25	ヘルパー会議・勉強会 感染症・食中毒の予防及び 蔓延防止	下旬	BCP訓練 軽費避難訓練参加	下旬	職員健康診断 衛生委員会		事業計画見直し
					下旬	訪問介護適正実施研修						
7月					26	ヘルパー会議・勉強会 緊急時・事故発生時の対応	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
					下旬	訪問介護計画作成・展開研修						
8月					26	ヘルパー会議・勉強会 非常災害時の対応	下旬	軽費避難訓練参加				
					下旬	訪問介護計画作成・展開研修						
9月					26	ヘルパー会議・勉強会 人権擁護について	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		事業計画見直し 規定・マニュアル見直し 兼務等業務内容見直し
					下旬	訪問介護計画作成・展開研修						
10月					25	ヘルパー会議・勉強会 認知症及び認知症ケア	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
11月					25	ヘルパー会議・勉強会 身体拘束について	下旬	香川シェイクアウト BCP訓練 軽費避難訓練参加	下旬	インフルエンザ予防接種 衛生委員会		
12月					26	ヘルパー会議・勉強会 コミュニケーションについて	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		事業計画見直し
1月					27	ヘルパー会議・勉強会 虐待防止について	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
2月					25	ヘルパー会議・勉強会 ハラスメントについて	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		
3月					25	ヘルパー会議・勉強会 口腔ケアについて	下旬	軽費避難訓練参加	下旬	衛生委員会		事業計画見直し 規定・マニュアル見直し 兼務等業務内容見直し

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
小規模多機能型居宅介護事業 サンリゾート

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

在宅で生活する不安や心配を取り除き、中重度の要介護者となっても住み慣れた地域で家族や親しい友人と共に暮らすため「24時間、切れ目なく暮らしを支える」ため連続性のあるケアの提供をする。新型コロナウイルス感染症は令和5年5月に2類から5類に移行しているが、現在も感染症は流行している現状がある。新型コロナウイルス感染症に限らず適切に感染対策を行いクラスターを防止し安定してサービス提供が出来る事を目指す。

職員については、小規模多機能の機能の理解をすると共に、ご利用者様に寄り添うケアを徹底し笑顔の絶えない関係性作り、在宅支援の視点など事業所全体のレベルアップを目指す。

持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち（3）すべての人に健康と福祉を（8）働きがいも経済成長も（14）海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（新年の目標）（手法）

【地域公益の視点】

- 民生委員、自治会、老人会、学校関係者、包括との繋がり強化
→こまめカフェ（認知症カフェ）の開催（10月を除く毎月1回）
→こどもセンターとの交流（季節毎）
→こまめカフェ、こどもセンターとの交流についてマンネリ化した内容の見直し（随時）
→地域の小学校への雑巾寄贈（年1回）
- 専門知識を習得と地域社会との繋がりを構築していく
→地域に開かれた事業所作り
→管理者だけでなく他職員も地域行事などへの参加。
→地域や家族からの相談に事業所として対応できるよう、地域密着型事業所の役割の理解、地域の相談窓口としての意識、家族に対するサポート、職員間の連携を強化していく（随時）
- 地域の環境保全の取り組み、地域貢献 ※SDGs（14）海の豊かさを守ろう
→事業所周辺及び浜のクリーン作戦（月1回）、地域の道普請への参加（年1回）

【財務の視点】

- 登録者及び待機者の確保と稼働率変動に対する分析
→法人内の情報共有、包括支援センター、居宅介護支援等との連携を図り登録者を確保（随時）
→目標予定金額、実績金額を全職員が把握し意識する
→報酬改定に伴う、加算項目の見直し
- 事業所の設備と備品、車両等を見直し、状況に応じた環境整備を行う
→施設内の環境を常に見直し必要な設備、物品の購入を計画的に検討（随時）
→車両の定期的な点検と整備（月1回）
- 物価高騰に対する対策
→節電、節水の呼びかけ、ポスター作り
→消耗品等、各種見直し（随時）

【顧客の視点】

- 事故防止、再発防止にむけた取り組みの強化
→事故防止委員会にて事故集計と報告（月1回）
→半期毎の事故の集計分析の実施（年2回）
→職員全員がヒヤリハットの意識を高めヒューマンエラーによる「事故ゼロ」を目指す
- 住み慣れた地域での生活が続けられるよう、小規模多機能の特性を活かし利用者の生活スタイルに合ったサービスの提供 ※SDGs（3）すべての人に健康と福祉を
→説明や声掛け時には相手が理解しているか確認を取る。
→細かい情報共有ができる関係性を作っていく。
→定期的なアセスメントの実施（随時） アンケート調査（年1回）
- 地域に開かれた施設づくり
→家族に向けた月1回の広報誌の発行、SNSでの情報の配信。

- 在宅介護者に向けた勉強会の開催（こまめカフェと連携）
- (4) 利用者の意欲向上、役割り作り、生きがい促進出来る行事の企画。
→こまめカフェの運営（準備）への参加、小学校への雑巾寄贈（年1回）

【業務プロセスの視点】

- (1) 運営推進会議の開催
→運営推進会議を通して利用者、家族、地域と情報共有しサービスの充実。（年6回）
→小規模多機能の『サービス評価』の実施（年1回）
- (2) 非常事態、自然災害に関する定期的な訓練の実施とBCP策定
→消防法に基づく消火訓練及び避難訓練（年2回）津波浸水避難、シェイクアウト訓練（年1回）
→感染症発生時の対応訓練（年1回）の実施。
→危機管理体制の強化として事業継続計画（BCP）を策定し、大規模災害・パンデミックへの対策強化に努める。
- (3) 感染症対策を全職員が徹底できる
→定期的な換気や手指・備品の消毒を徹底し、感染対策を日頃から徹底する。
→感染症対策の情報をご家族様、職員間で情報交換できるような関係性を構築していく
- (4) 離職率の低下と人材確保
→職員満足度の向上を目指し業務改善（効率化・省略化）を行う。
※SDGs(8)働きがいも経済成長も
→チーム力の向上を目指す（協力心や信頼関係の構築）

【学習の視点】

- (1) 職員のスキルや知識・ノウハウの育成育成
→外部研修や内部研修への積極的な参加。
→研修会や勉強会（月1回）を継続し、高齢者福祉、認知症に対する理解を深め個別ケアに繋げる

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 12名
- (2) 勤務パターン
- | | | | | | |
|---|------------|---|-------------|---|--------------|
| L | 7:30~16:30 | K | 8:00~17:00 | B | 8:30~17:30 |
| C | 9:30~18:30 | D | 10:00~19:00 | ★ | 17:00~翌10:00 |
| △ | 8:30~12:30 | ▽ | 13:30~17:30 | ○ | 9:00~16:00 |
| N | 9:00~17:00 | ● | 8:30~15:30 | | |

4. 定員（利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載）

- (1) 定員 25名 1日の利用定員（通い15名、泊まり9名、訪問随時）
- (2) 利用日、利用時間 24時間 365日

5. 利用料金一覧

別紙のとおり

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他（上記に記載されていない内容）

- ・脱衣場ドア修理

＜小規模多機能型居宅介護事業 サンリゾート 料金表＞

令和6年4月1日 現在

(1) 介護保険給付対象料金

・基本料金(月額)

(単位:円)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
基本料金(10割) <small>下段カッコ内は単位数</small>	34,500 (3450)	69,720 (6972)	104,580 (10458)	153,700 (15370)	223,590 (22359)	246,770 (24677)	272,090 (27209)
自己負担額 (1割の場合)	3,450	6,972	10,458	15,370	22,359	24,677	27,209
自己負担額 (2割の場合)	6,900	13,944	20,916	30,740	44,718	49,354	54,418
自己負担額 (3割の場合)	10,350	20,916	31,374	46,110	67,077	74,031	81,627

・各種加算料金(主なもの) ※初期加算・看取り連携体制加算を除き月額料金です

印が、現在算定している加算

(単位:円)

加算の名称	利用料金 (10割)	自己負担 (1割)	自己負担 (2割)	自己負担 (3割)	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 初期加算	300 (30)	30	60	90	登録日から30日以内の期間及び、30日を超える病院又は診療所への入院後に利用を再び開始した場合
<input checked="" type="checkbox"/> 認知症加算(Ⅰ) ※要介護のみ算定	8,000 (800)	800	1,600	2,400	認知症日常生活自立度Ⅲ以上の方(該当者のみ算定)
<input checked="" type="checkbox"/> 認知症加算(Ⅱ) ※要介護のみ算定	5,000 (500)	500	1,000	1,500	要介護度区分が要介護2であり、認知症日常生活自立度Ⅱの方(該当者のみ算定)
<input checked="" type="checkbox"/> 看護職員配置加算(Ⅰ) ※要介護のみ算定	9,000 (900)	900	1,800	2,700	常勤かつ専従の看護師を1名以上配置している場合
<input type="checkbox"/> 看護職員配置加算(Ⅱ) ※要介護のみ算定	7,000 (700)	700	1,400	2,100	常勤かつ専従の准看護師を1名以上配置している場合
<input checked="" type="checkbox"/> 市町村独自加算 ※要介護のみ算定	1,000 (100)	100	200	300	市町村が独自に定める加算。交流スペースを有し、定期的に地域との交流を行います。
<input checked="" type="checkbox"/> 特別地域加算	1ヶ月に利用した総単位数に対して加算する(15%)				厚生労働大臣が定める地域に所在する事業所が、サービス提供を行った場合(離島振興対策実施地域)
<input type="checkbox"/> 訪問体制強化加算 ※要介護のみ算定	10,000 (1000)	1,000	2,000	3,000	訪問を担当する職員数や訪問回数がいずれも一定数以上である場合
<input checked="" type="checkbox"/> 総合マネジメント体制強化加算	8,000 (800)	800	1,600	2,400	個別サービス計画の多職種協働による適時適切な見直しや地域における活動への参加機会の確保等を行う体制が整備されている
<input type="checkbox"/> サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	7,500 (750)	750	1,500	2,250	職員体制による加算(介護福祉士の比率が70%以上)
<input checked="" type="checkbox"/> サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	6,400 (640)	640	1,280	1,920	職員体制による加算(介護福祉士の比率が50%以上)
<input type="checkbox"/> サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	3,500 (350)	350	700	1,050	職員体制による加算(常勤職員の比率が60%以上)
<input type="checkbox"/> サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	3,500 (350)	350	700	1,050	職員体制による加算(勤続年数3年以上の者の比率が30%以上)
<input checked="" type="checkbox"/> 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	1ヶ月に利用した総単位数に対して加算する(10.2%)				介護職員の処遇改善のための加算
<input checked="" type="checkbox"/> 介護職員等特定処遇改善加算(Ⅰ)	1ヶ月に利用した総単位数に対して加算する(1.5%)				介護職員の処遇改善のための加算(介護職員処遇改善加算を算定していることが要件)
<input checked="" type="checkbox"/> 介護職員等ベースアップ等支援加算	1ヶ月に利用した総単位数に対して加算する(1.7%)				介護職員の処遇改善のための加算(介護職員処遇改善加算を算定していることが要件)

…区分支給限度額に含まない

(下段のカッコ内の数字は単位数)

※ 上記料金は、厚生労働省の基準省令(令和3年3月)に基づき定められた料金です。基準省令が改正になった場合には基準省令に従い変更させていただきます。

※ 料金の計算過程における端数処理により、実際の請求額が上記金額と若干異なる場合があります。

※ サービス提供体制加算(Ⅰ)、(Ⅱ)、(Ⅲ)はいずれか1つのみです。

(2) 介護保険給付対象外の料金(全額自己負担)

名称	利用料金
食費	1日:1,445円(朝食:310円 昼食:550円 夕食:585円) ※おやつ代含む
宿泊費	1泊:2,100円(宿泊代:2,000円 寝具代:100円)
その他	洗濯代:1回につき 100円 オムツ代:実費(各自でご用意をお願いします)

年間行事等実施計画

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他		
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	
4月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 お花見ドライブ		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会	※年間3～4回 小豆島町介護支援専門員 研修会参加
5月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 端午の節句		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会	
6月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 新緑巡り		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	健康診断 衛生委員会	事業進捗確認、補正
7月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 七夕		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会	
8月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 夏祭り		経営会議・課長主任会議 認知症研究会(勉強会) ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(草刈り) 避難訓練	下旬	衛生委員会	
9月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 お彼岸		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会	事業進捗確認、補正
10月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 祭り見物		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	上旬 10 20	香川県シェイクアウト 安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(草刈り) 避難訓練	下旬	衛生委員会	
11月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 紅葉巡り		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	職員インフルエンザ予防接種 衛生委員会	
12月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 クリスマス会		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 施設整備(年末大掃除) 避難訓練	下旬	衛生委員会 夜勤職員健康診断	事業進捗確認、補正
1月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 初詣		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会 夜勤職員健康診断	
2月	15	リゾートカフェ 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 節分		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会 夜勤職員健康診断	アンケート調査 事業計画書、予算書作成
3月	15	リゾートカフェ 運営推進会議 誕生会 ごちそうの日		こどもセンター交流 ひな祭り		経営会議・課長主任会議 勉強会 ケア会議 職員会議	10 20	安全点検 車両点検(業者委託) 避難訓練	下旬	衛生委員会 夜勤職員健康診断	事業報告書作成

令和6年度事業計画書

社会福祉法人サンシャイン会
給食課

1. 概要・目的（運営、サービス、ケア等の方針）

食事は栄養を摂るだけの物ではなく、食事から喜びや幸せをもたらす物であると捉え、栄養バランスの摂れた食事はもちろんの事、食事から五感を感じて食欲増進を図り、心と体の安らぎも提供できるよう、常に創意工夫に努めながら、昔からのサンシャインの味を大切に、プロの味を取り入れ、より一層「サンシャイン=食事」と言われるよう給食課職員ワンチームとなって、利用者から喜ばれる食事が提供できるよう努力していく。また、利用者の状態により食事形態が多種になってきているが適切に対応したい。

年2回の嗜好調査や個別のアセスメントをもとに利用者の要望を給食に反映させた献立作成を行っていく。食中毒防止や感染症対策のため給食課職員の健康管理を含め衛生管理の徹底を行う。職員には施設内外の研修会の参加を促し、更なるスキルアップをすすめていく。地域行事を通して、地域に開かれた施設を目指し地域に貢献していく。

原油価格の高騰・地球温暖化による変化にて、食材費の変動、卸問屋の廃業等、地元業者の納品に支障が出てきており、品質・価格を検討しながら新規開拓や、食材の見直しをしていく必要がある。

さらに、持続可能な開発目標（SDGs）の17の目標のうち(3)すべての人に健康と福祉を(8)働きがいも経済成長も(14)海の豊かさを守ろうの3つの項目で事業所に合った目標設定をして取り組みを進める。

2. 達成目標（新年の目標）（手法）

【地域公益の視点】

(1) 地域への強化

→地域交流昼食会、お一人暮らし高齢者を励ます会の開催や出前講座、参加をして地域との繋がりを強化してニーズの把握に努める。（年間を通して）

(2) 地域公益活動への参加（14）海の豊かさを守ろう

→クリーン作戦（月1回）地域貢献活動に積極的に参加できるように調整する。（年度末）

(3) 受託事業の実施・内容の充実

→配食サービス事業（ふれあい弁当 毎週水・金）

→配食サービスに手紙を入れ、感想や意見を聞き取り、今後に反映していく。

→季節の食材の使用や色合いにも工夫していく。

→お一人暮らし高齢者を励ます会のお弁当作り（12月）

【財務の視点】

(1) 財務に関する数値分析（12）つくる責任つかう責任

→食材、調味料のコスト、納入業者の検討、見直し、改善（随時）

→喫食者の人数・残食の分析で食品ロスを減らす。（随時）

(2) 修繕費や設備購入等高額な費用の予測、計画

→随時、必要な修理、購入を行う。（随時）

(3) 雇用形態の検討（8）働きがいも経済成長も

→高齢になっても働きがいを持ち、長く働ける勤務形態の検討。（1月）

【顧客の視点】

(1) 利用者のニーズに応じたサービスの提供（3）すべての人に健康と福祉を

→年2回嗜好調査を実施して、利用者の食に関するニーズを把握する。（7月・1月）

利用者の嚥下状態に合った食事形態の見直し。（随時）

各部署の検食簿のコメントを整理して、検討、見直しを行う。全職員に回覧して情報を共有する。（毎月）

- (2) 定期的なアセスメント実施
 - 利用者個々に適した栄養ケアプランの作成、もしくは状態の変化があった場合には再アセスメントを行う。(基本3ヶ月に一度)
- (3) 家族の意向に沿ったサービス提供
 - 家族へ栄養ケア計画書を送付する。(基本3ヶ月に一度)
 - 担当者会議に出席して家族の意向、要望を聞き取る。(随時)
- (4) 利用者満足度向上 (3) すべての人に健康と福祉を
 - 郷土料理、家庭の味を大切にしながら、旬の食材を使った食事の提供で季節感を感じてもらい、満足アップに繋げていく。新メニューの開発。(随時)
 - 各部署の検食簿のコメントを整理して、検討、見直しを行う。全職員に回覧して情報を共有する。(毎月)
- (5) 事故の分析を実施し、事故防止と再発防止への取り組み。
 - 事故報告、ヒヤリハットを年2回集計して分析し、再発防止に努める。(9月・3月)
 - 事故報告書、ヒヤリハットを回覧する。(随時)

【業務プロセスの視点】

- (1) 定期的なマニュアルの見直し
 - 必要に応じ、修正、見直しを行い作成する。(9月)
- (2) 賞味期限の防災食の消費、見直し、買い替え
 - 賞味期限の把握を徹底し買い替え時期には、より長期保存期間の物を検討する。(随時)
- (3) 感染症対策
 - 感染予防の徹底を行う(毎日)、職員の健康管理(毎日)

【学習の視点】

- (1) 職員の知識・技術向上・衛生管理についての勉強会の実施、スキルアップを図る。
 - 毎月、知識・技術向上・衛生管理について勉強会を行う。(毎月)
 - 施設内の研修や外部の研修会にも積極的に参加する。(随時)
- (2) 給食の品質管理、衛生管理の徹底と安全確保
 - 毎月の勉強会にて衛生管理に対する意識向上に努める。(毎月)
 - 衛生管理点検を行う。(毎日)

3. 職員体制・勤務状況等

- (1) 人員 12名
- (2) 勤務パターン

Ⓐ	6:00~15:00	K	8:00~17:00	B	8:30~17:30	C	9:00~18:00
D	10:00~19:00	M	17:00~19:00	○	9:00~16:00	□	8:00~13:00

4. 定員 (利用日や時間が決まっている部署は合わせて記載)

- (1) 定員 軽費 50名 特養(本館 50名、別館 20名) 短期 10名
通所(本部 25名、北デイ 20名、西デイ 20名) 小規模(日中 15名、夜間 9名)
- (2) 利用日、利用時間 1日3食 365日

5. 利用料金一覧

朝食 310円 昼食 550円 夕食 585円

6. 行事、研修、訓練等

別紙、年間計画書に記載

7. その他 (上記に掲載されていない内容)

- ・床の補修(塗装) ・冷凍庫の購入 ・食器保管庫の買い替え(経年劣化)
- ・ブ里克サー(ミキサー)の修理 ・ガステーブルのコック交換

年間行事等実施計画

項目 月	行 事		職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容		
4月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	12	経営会議	23	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検		
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会						
	21	月例祭			21	衛生研修会						
5月	4	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検	中旬	春の地域交流昼食会
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会						
	21	月例祭			19	衛生研修会						
6月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検		
	21	誕生会			21	給食会議・職員勉強会						
	22	月例祭			16	衛生研修会						
7月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	12	経営会議	23	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検		嗜好調査
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会						
	21	月例祭			21	衛生研修会						
8月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検	10	年次祭
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会			27	職員健康診断	10	創立記念夏祭り
	23	月例祭			25	職員会議						
9月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	24	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検	中旬	敬老会 マニュアル見直し 事故分析、検討 事業進捗確認・検討
	21	誕生会			21	給食会議・職員勉強会						
	22	月例祭			15	衛生研修会						
10月	4	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	12	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検		
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会						
	21	月例祭			20	衛生研修会						
11月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検 インフルエンザ予防接種	月上旬	秋の地域交流昼食会
	19	誕生会			19	給食会議・職員勉強会						
	22	月例祭			17	衛生研修会						
12月	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	24	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検	月上旬	一人暮らし高齢者を励ます会
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会						
	21	月例祭			15	衛生研修会						
1月	下旬	餅つき			6	給食委員会						
	4	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	11	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検	1	元旦祭 嗜好調査
	20	誕生会			20	給食会議・職員勉強会						
2月	21	月例祭			19	衛生研修会						
	2	にこにこカフェ		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	25	職員会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検		事業計画書作成
	21	誕生会			5	給食委員会						
3月	18	誕生会		ふれあい弁当 (毎週水・金曜日)	10	経営会議	25	避難訓練(火災)	毎日	衛生管理点検		事故分析、検討 事業報告書作成
	22	月例祭			18	給食会議・職員勉強会						
					16	衛生研修会						